

武蔵野美術大学 美術館・図書館

館報

Biennial Report of Musashino Art University
Museum & Library 2020–2021 no.31

no.31
2020–2021

MWUM&L

MUSEUM
MUSEUM
MUSEUM
LIBRARY
LIBRARY
LIBRARY

目次

Table of Contents

	目次
2	ご挨拶 🔗
	1 公開/発信 🔗
4	美術館・民俗資料室展覧会記録 🔗
24	図書館内展示・イベント記録 🔗
32	所蔵品の公開 🔗
35	美術館・図書館・民俗資料室・イメージライブラリー紹介動画 🔗
	2 活用/提供 🔗
37	教育普及活動報告 🔗
39	所蔵品の館外貸出 🔗
48	授業対応実績 🔗
53	収蔵資料閲覧実績 🔗
	3 収集 🔗
55	資料受入実績（購入・寄贈） 🔗
	4 保存/建築/施設 🔗
60	美術館石膏像の再配置 🔗
62	美術館・図書館設備に関する報告 🔗
	5 組織 🔗
64	事務組織の変更 🔗
65	本学学務事務組織図と美術館・図書館グループの業務分掌 🔗
66	美術館・図書館運営委員会 🔗
	6 その他 🔗
71	新型コロナウイルス感染症対応 🔗
79	団体見学等 🔗
	資料 🔗
81	統計 🔗
87	1967年開館以降の全展覧会リスト 🔗

ご挨拶

Greetings

武蔵野美術大学 美術館・図書館の2020（令和2）年度及び2021（令和3）年度の活動を報告いたします。

当館は、1967年に「武蔵野美術大学美術資料図書館」として開館して以来、美術館と図書館が一体となった当館ならではの、「美術館報」と「図書館報」の二つの性格を統合した『館報』の刊行によって活動をお伝えしてまいりました。今号より、WEB版としてリニューアルし、これを機に紙面構成も見直しを行い、当館の活動を振り返る上で高い資料性を備えた内容になることを意識いたしました。

2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症というこれまで経験したことのない災禍に見舞われ、従来行ってきた展覧会やガイダンスなどの諸活動が大きく制約を受けることとなりました。そのような中において、館としての責務を果たすべく様々な工夫を凝らしながら取り組んだ活動をここにまとめました。

本学関係者はもとより、美術館、図書館、研究機関等のみなさまにおかれましては、今後とも、当館の教育・研究活動にご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

2022年9月

武蔵野美術大学 美術館・図書館長

赤塚 祐二

1 公開/発信

1 Release / Publication Activities

美術館・民俗資料室展覧会記録

Exhibitions at the Museum and Folk Art Gallery

- ・展覧会の基本情報及び概要文に、展示風景の画像を添えて紹介した。
- ・本記録の原稿は各展覧会の担当者が作成した。
- ・担当者の所属先（本学美術館・図書館グループ 美術・図書チーム）については表記を割愛した。
- ・所属先、役職名等は展覧会開催当時のまま記載した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際の開催にあたっては広報物に記載した内容から変更したことがある。

2020年度

2020年 6月15日 ～ 8月13日	令和元年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展
2020年 9月21日 ～ 10月24日	イラストレーションがあれば、
2020年 9月21日 ～ 10月24日	脇谷徹——素描ということ
2020年10月26日 ～ 12月19日	民俗資料室ギャラリー展示28「紙・木・藁にみる祈りの造形」
2020年11月16日 ～ 12月19日	Door is Ajar ドアは開いているか 山本直彰展
2020年11月16日 ～ 12月19日	十時啓悦——樹木と漆と暮らし
2020年11月16日 ～ 12月19日	所蔵品展——ふたしかなデザイン
2020年11月30日 ～ 12月19日	部屋と庭 隔たりの形式

令和元年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展

SELECTED WORKS FROM MUSASHINO ART UNIVERSITY DEGREE SHOW 2019

会期：

【学内限定公開】

2020年6月15日(月)～7月3日(金)、7月24日(金)、7月30日(木)、8月1日(土)、2日(日)、6日(木)、8日(土)、9日(日)、13日(木)

【一般限定公開】

2020年7月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)

会場：美術館 全館

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：森克之、上原彰子、鴻知佳子

会場構成：黒澤誠人

広報印刷物デザイン：三上悠里

概要：

学部卒業制作および大学院修了制作において優秀賞を受賞した学生約100名の作品を全館にわたり展示した。絵画や彫刻といったファインアート、ポスターやプロダクトなどのデザイン、工芸、そしてアニメを含む映像といった作品から、パフォーマンス、研究論文まで、本学で実践されている幅広い美術教育の成果を紹介した。

入館者数：2,671人



撮影：稲口俊太

イラストレーションがあれば、 THE POSSIBILITY OF ILLUSTRATION

会期：2020年9月21日(月)～10月24日(土)

会場：美術館 展示室4・5

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：

赤塚祐二 教授(油絵学科油絵研究室、美術館・図書館長)

担当：鳥越麻由、大野智世

会場構成：黒澤誠人

広報印刷物・図録デザイン：橋詰宗

概要：

当館コレクションより、中世ヨーロッパの彩飾写本や16世紀の世界地図、20世紀初頭フランスで隆盛した芸術家による挿絵本(リーブル・ダルティスト)、近現代日本のポスターなど、西洋と日本のイラストレーションをめぐり、幅広い時代の作品を展覧した。また、特別出品として貸与いただいたイラストレーター安西水丸氏の原画を展示。それらの作品を通して、現代日本のイラストレーションの源泉ともいえる西洋の〈illustration〉の実体、日本の多彩なイラストレーションを生んだイラストレーターの存在を探り、一言では言い尽くしがたい、豊かで複雑なイメージを孕む日本におけるイラストレーションを考え、その可能性を紐解く機会とした。

入館者数：1,968人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17032/> 



撮影：いしかわみちこ

脇谷徹——素描ということ Toru Wakiya——The Act of Drawing

会期：2020年9月21日(月)～10月24日(土)

会場：美術館 展示室2・3、アトリウム1・2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：武蔵野美術大学 共通彫塑研究室

監修：脇谷徹 教授(共通彫塑研究室)

担当：森克之、小川宏和

広報印刷物・図録デザイン：馬面俊之

概要：

本学の造形教育の基礎を担う共通彫塑研究室で長年教鞭を執ってきた彫刻家、脇谷徹の自選展。ありのままの「かたち」をつかむ行為を「素描」と捉える脇谷にとっては、平面作品も立体作品も同じ「素描」の発露であり、本展ではそうした「素描」の新作を含む平面作品約150点と立体作品約50点を二つの空間で展示した。後ろ姿の人物像や、頭の「かたち」を捉えようと試みた《頭像》シリーズ、直接は見えなくても確かに存在する空間を「かたち」に落とし込んだ《箱》、《扉》シリーズなどが会場に整然と並べられた。装飾を取り払い、必要最低限の描線で空間の中、あるいは紙の上に「素描」された作品群は、印象や概念に影響されていない「かたち」を改めて提示してくれる。脇谷徹の真っ直ぐで力強い作品世界と、造形における「素描」という表現の魅力を示した。

入館者数：2,378人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17037/> 



撮影：松本隆

民俗資料室ギャラリー展示28 「紙・木・藁にみる祈りの造形」 Folk Art Gallery Exhibition 28 Paper, Wood, and Straw—Aids for Prayers

会期：2020年10月26日(月)～12月19日(土)

会場：民俗資料室ギャラリー

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：松本美虹、小川宏和

広報印刷物・図録デザイン：佐藤篤司

概要：

民俗資料室が所蔵する豊かなコレクションから、紙・木・藁など自然の素材で作られた資料群を中心に、素材の温もりとそこに込められた作り手の真心が、現代においても普遍的なものとして様々な儀礼に息づいていることを伝える展覧会。様々なデザインが溢れる現代においても、古くから人々の手によって生み出され、使用されてきたモノには素朴な美しさがある。人々の信仰に根ざした道具の造形は多種多様であり、地域の伝承や習俗など、土地の文化の特性を映し出していると言える。それらは、祭礼や年中行事など特別な日に神を迎え、歓待するために美しく装飾された。

入場者数：1,114人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17113/> 



撮影：稲口俊太

Door is Ajar ドアは開いているか 山本直彰展

Door is Ajar——Naoaki Yamamoto

会期：2020年11月16日(月)～12月19日(土)

会場：美術館 展示室3・4

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：武蔵野美術大学 日本画学科研究室

監修：山本直彰 教授（日本画学科研究室）

担当：大野智世

広報印刷物・図録デザイン：杉山さゆり

概要：

押し迫る感情を表出する筆致や緊張に満ちた構図、打ち捨てられたドアをそのまま支持体として用いた画面など、日本画の新たな絵画表現の可能性を提示してきた山本直彰。本展タイトルにある「AJAR」とは、ドアなどが半ば開かれた状態を指し、内と外、自己と他者、生と死といった、相反する様々なものを分かちつつ結ぶ存在であるドアを基点に、山本の作品世界を紹介した。自身の過去、現在、未来を主題とし、去来する数々の記憶の断片を幅16メートルの大画面に再構成した新作に加え、聖書あるいは神話や小説に書き綴られた言葉を発想源としながら、絵画として自らの心象世界を内在化した近作も展示した。

入館者数：3,031人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17169/> 



撮影：稲口俊太

十時啓悦——樹木と漆と暮らし Akiyoshi Totoki: Life Among Trees and Urushi

会期：2020年11月16日(月)～12月19日(土)

会場：美術館 展示室2、アトリウム1

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：

武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科研究室

監修：

十時啓悦 教授(工芸工業デザイン学科研究室)

担当：上原彰子、北澤智豊

会場構成：入江剛史

広報印刷物・図録デザイン：谷田幸

概要：

暮らしの中の漆器、主に椀、盆、皿、菓子鉢、酒器などの食器を中心に、十時啓悦教授の漆芸作品を紹介した。美術工芸品の制作と、生活道具作りの間を往来するような手仕事から生まれる作品は、工芸品でありながら多くの人が手に取れることというように、一見相反することをかなえるためのバランスを追求する中で生まれてきた。木と漆という自然素材が見せる表情の豊かさを紹介すると同時に、作品の制作工程の解説展示によって、十時特有の技法を紐解いていった。

入館者数：2,858人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17154/> 



撮影：稲口俊太

所蔵品展——ふたしかなデザイン Collection: Vague Design

会期：2020年11月16日(月)～12月19日(土)

会場：美術館 アトリウム2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：内田麻美子

広報印刷物・リーフレットデザイン：渡邊翔

概要：

本展では、当館が新たに収蔵したプロダクトデザインの中から、既成の価値観とは異なる視点からデザインの意義を問い直す作品を紹介した。倉俣史朗の《How High the Moon》は、メッシュ加工された金属素材の軽やかな透視性を利用し、まるで宙に浮いているような印象を見る人に与え、誰しもが椅子に求めるような「安心感」をあえて遠ざけている。小泉誠の《kehai》は、文字盤の上に磨りガラスが嵌められていて、その奥で刻々と時を刻む針の正確な動きを読み取ることができない。「実用性」というプロダクトの重要な一側面が不足しているように感じるが、不思議と「ふたしかな」魅力が感じられる。多くの可能性を秘めた領域を拓いていく、これまでにない個性的なプロダクト約50点を展示した。

入館者数：3,037人

制作物：リーフレット



撮影：稲口俊太

部屋と庭 隔たりの形式

Room and Garden——The Form of Distance

会期：2020年11月30日(月)～12月19日(土)

会場：美術館 展示室1、館内各所、美術館前芝生

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

企画協力：松浦寿夫 教授(美学美術史研究室)

担当：大野智世、鳥越麻由

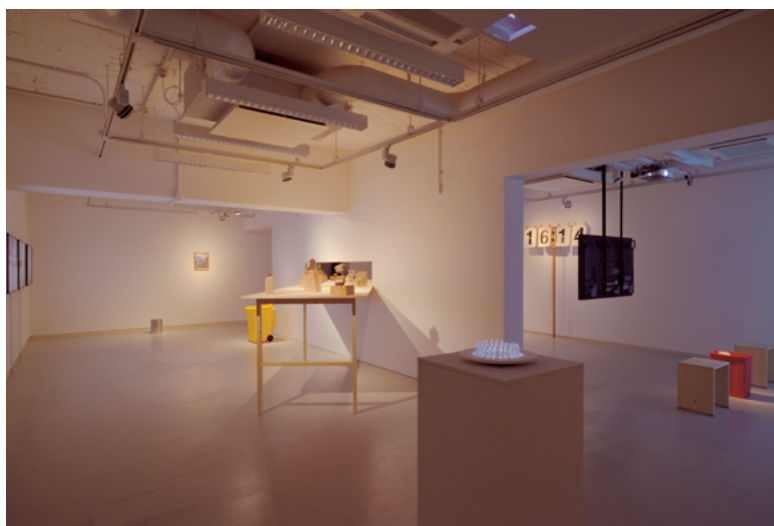
広報印刷物・リーフレットデザイン：早瀬交宣

概要：

本学の教育を支える若手・中堅層の教員による小企画として、様々なメディアを用いて表現を試みる石川卓磨、後藤映則、小林耕平、杉浦藍、鈴木基真、富井大裕、森田浩彰による作品を紹介。「部屋と庭」をめぐり想起される事象—生活と記憶、時間、痕跡など—を起点として、現代作家7名の多様な表現が集った。独立した小さな展示室と、その周縁に広がる芝生、館内の隙間ともいえるささやかなスペースで展開された彼らの作品は、互いの存在を推しはかるかのように、それぞれの距離—隔たりの形式—を示し、私たちが暮らす日常の風景のなかで、大きく揺らぎ、かたちを変えていく世界の姿を再認識する、ひとつの試みとも取れた。

入館者数：1,080人

制作物：リーフレット



撮影：石川卓磨

2021年度

2021年 4月 5日 ～ 6月20日	オムニスカルプチャーズ——彫刻となる場所
2021年 4月 5日 ～ 6月20日	片山利弘——領域を越える造形の世界
2021年 5月12日 ～ 6月20日	膠を旅する——表現をつなぐ文化の源流
2021年 7月12日 ～ 8月 8日	令和2年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展
2021年10月 4日 ～ 10月31日	川口起美雄——I'll be your mirror
2021年10月 4日 ～ 11月14日	ART-BOOK: 絵画性と複製性——MAU M&L貴重書コレクションxLubokの試み
2021年10月25日 ～ 12月18日	民俗資料室ギャラリー展示29「運ぶ——文化とカタチ」
2021年11月29日 ～ 12月21日	牧野良三——舞台美術における伝達と表現
2021年11月29日 ～ 12月21日	助教・助手展2021 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表

オムニスカルプチャーズ——彫刻となる場所 Omni-Sculptures——The Scene of Emergence

会期：2021年4月5日(月)～6月20日(日)

会場：美術館 展示室1・2、アトリウム1・2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：

ANOMALY、ケンジタキギャラリー、小山登美夫ギャラリー、シュウゴアーツ、西村画廊、ヒノギャラリー、ミヅマアートギャラリー、武蔵野美術大学 彫刻学科研究室

監修：三沢厚彦 教授(彫刻学科研究室)

担当：北澤智豊、鳥越麻由

会場構成：杉戸洋

広報印刷物・図録デザイン：

秋山伸(edition nord.)

概要：

戸谷成雄、舟越桂、伊藤誠、青木野枝、三沢厚彦、西尾康之、棚田康司、須田悦弘、小谷元彦、金氏徹平、長谷川さちといった現代彫刻を牽引する多彩な彫刻家が参加し、新作を中心に展示した。「オムニスカルプチャー」は彫刻の全方位性(≡ omni)を意味する、三沢厚彦による造語。本展では、芦原義信が1967年に設計し、その後さらに異なる建築思考による二度の改修を経た当館特有の空間のなかで、画家の杉戸洋が会場構成として一つの触媒となることで、11名による彫刻のこれまでにない関係を誘発した。そして、展示空間全体もまた一つの表現性を有することで、「オムニ」という概念をめぐる、彫刻の現在とこれから、新たな可能性を浮上させた。

入館者数：6,138人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17414/> 



撮影：岡野圭

片山利弘——領域を越える造形の世界 Toshihiro Katayama: Transcending Spatial Arts

会期：2021年4月5日(月)～6月20日(日)

会場：美術館 展示室3

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：片山渥美、片山哲夫、南天子画廊

監修：新島実 名誉教授

担当：佐伯聡子

会場構成：入江剛史

映像制作：土井伊吹

撮影(映像コーナー)：佐治康生、三本松淳

広報印刷物・図録デザイン：江南仁美

概要：

戦後日本のデザイン創成期に主導的な役割を果たし、後に制作の場をスイス、アメリカと海外に求めた片山利弘（1928-2013）は、デザイン、絵画、彫刻、そして巨大な建築空間での立体表現と、領域の枠組みにとらわれずに活躍した。本展では独学で学び、日本で発表した初期のグラフィック作品にはじまり、スイスに渡り製薬会社ガイギー社で携わった広告デザイン、アメリカのハーバード大学カーペンター視覚芸術センターでのデザインと教育の仕事、そして1980年以降の日米を行き来しながら続けたそれまでの創作をさらに発展させた「領域を越えた造形」を紹介した。グローバルに生きた片山の創作活動の全貌に迫るはじめての機会となった。

入館者数：4,203人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17406/> 



撮影：佐治康生

膠を旅する——表現をつなぐ文化の源流

The Journey to Nikawa——Tracing the Cultural Origins

会期：2021年5月12日(水)～6月20日(日)

会場：美術館 展示室4・5

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：内田あぐり 名誉教授

担当：大野智世

広報印刷物デザイン：渡邊翔

概要：

日本画の伝統的画材である膠は、絵具と支持体をつなぎとめる素材として、多様な表現を生み出しながら、連綿と続く日本画の系譜を支えてきた。しかしながら、今日において伝統的な手工業による膠の生産は途絶えている。本展は、本学共同研究「日本画の伝統素材『膠』に関する調査研究」の成果発表展として、膠づくりの歴史的・社会的背景を見つめ直す現地調査のドキュメントを中心に、実際の動物の皮といった実物資料、さらには当館所蔵の日本画等の膠を用いた作品表現を紹介した。動物の骨や皮を主な原料とする膠づくりの源流をたどる旅を通して、各地の動物資源の利用とその社会史、膠がつなぐ表現の諸相を多角的に見つめる機会となった。

入館者数：3,034人



撮影：内田亜里

令和2年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展

SELECTED WORKS FROM MUSASHINO ART UNIVERSITY DEGREE SHOW 2020

会期：

【学内限定公開】

2021年7月12日(月)～17日(土)、27日(火)～31日(土)、8月3日(火)～7日(土)

【一般限定公開】

2021年7月20日(火)～25日(日)、8月1日(日)、8日(日)

会場：美術館 全館

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：森克之、上原彰子、小川宏和、竹畠薫

広報印刷物デザイン：三上悠里

概要：

学部卒業制作および大学院修了制作において、特に優れた作品や研究成果を発表した学生に対し贈られる「優秀賞」を受賞した作品約100点を、全館にわたり展示した。今回は、2019年に開設した大学院造形構想研究科を加えて初の「卒業・修了制作 優秀作品展」開催となった。

※各研究室の協力のもと、受賞作品の中から出品作品を選出したうえでの開催となった。

入館者数：2,884人



撮影：稲口俊太

川口起美雄——I'll be your mirror Kimio Kawaguchi——I'll be your mirror

会期：

2021年10月4日(月)～10月31日(日)

会場：美術館 展示室3・4

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：

彩鳳堂画廊、武蔵野美術大学 油絵学科油絵研究室

監修：川口起美雄 教授(油絵学科油絵研究室)

担当：佐伯聡子

広報印刷物・図録デザイン：白井敬尚形成事務所

概要：

「故郷を喪失したものたち」と共に辿りつくことのない故郷への旅を続ける画家・川口起美雄。その旅の記録者として1970年代の終わりから描き続けている一連の作品の中から、本展では、1990年代から現在に至るまでの作品を紹介した。ウィーン派の巨匠ヴォルフガング・フッター(Wolfgang Hutter, 1928–2014)の下で技法研究の研鑽を積んだ川口の作品の数々は、インプリミトゥーラと呼ばれる一層目の絵具層の粗描きから出発し、テンペラと油彩の併用による混合技法によって描かれている。重厚な画面の中に、卓越した技法で描かれる日常にあるリアルな断片で構成された塔や窓辺の風景、鳥や犀などの動物によって、メタファーに満ちた不可思議な非日常の世界として広がり、誰も見たことのない絵画世界を切り拓き続けている川口の作品を展覧した。

入館者数：2,138人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/19639/> 



撮影：佐治康生

ART-BOOK: 絵画性と複製性——MAU M&L貴重書コレクション×Lubokの試み

ART-BOOK: Pictoriality in Print Rare Books of MAU M&L×Lubok

会期：2021年10月4日(月)～11月14日(日)

会場：美術館 展示室1・2、アトリウム1・2

主催・企画：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：高浜利也 教授(油絵学科版画研究室)

企画協力：飯沼珠実

担当：大野智世、西村碧

会場構成：北川陽史(展示室2)

広報印刷物・図録デザイン：保田卓也

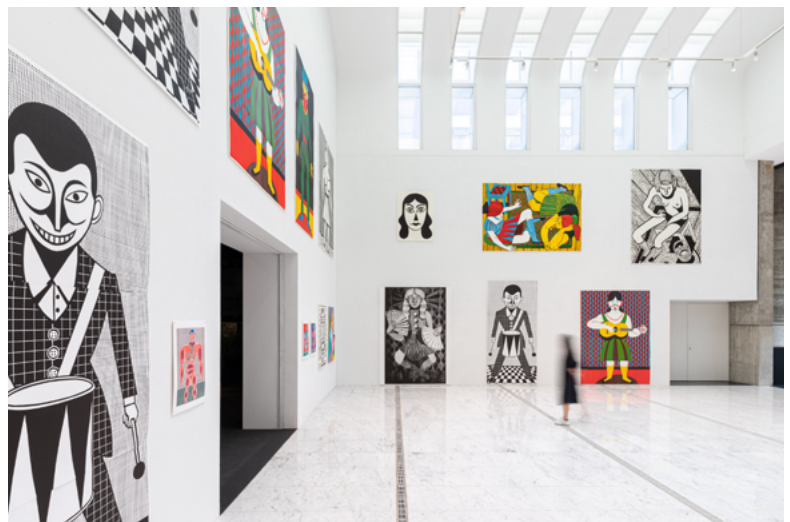
概要：

本展では、書物における版画に焦点を当て、当館の貴重書コレクションを体系的に展覧するとともに、現代の版表現の可能性を拡張するライブツィヒの出版社ルボーク・フェアラーグ（Lubok Verlag）の活動を紹介し、書物における「絵画性」の在りかを版画というメディアの技術的、表現的側面から紐解くことを試みた。貴重書コレクションからは、活版印刷術発明以降の木版挿絵から近代の芸術家たちによるリーブルダルティストまで500年以上にわたる歴史の中から版表現に優れた書物を厳選した。あわせて、ルボーク社が刊行したアートブックと、主宰者であるクリストフ・ルックヘバーレによる版画作品を紹介した。

入館者数：3,424人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/19641/> 



撮影：稲口俊太

民俗資料室ギャラリー展示29「運ぶ——文化とかたち」 Folk Art Gallery Exhibition 29 Conveyance: Culture and Forms

会期：2021年10月25日(月)～12月18日(土)

会場：民俗資料室ギャラリー

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：小川宏和、松本美虹

広報印刷物・図録デザイン：
三橋光太郎(白井敬尚形成事務所)

概要：

民俗学者の宮本常一(1907-1981、1965-1977
本学教授)は、機械以前の道具＝民具を人間の動作
を助けるものと考え、その造形が身体の構造や人、
地域それぞれの文化に影響されていることに着目
した。本展のテーマ「運ぶ」は人にとって基本的
な動作の一つである。その方法や用いる道具も、
荷物の違いはもちろん性別・地形・気候・移動距
離など様々な条件に合わせて選択される。とりわ
け、機械以前の時代においては人力に頼ることが
多く、運搬方法の選択や道具づくりには知恵が求
められた。一見素朴な道具も、素材や身体に合わ
せた細部の加工からは、現在と異なる自然との向
き合い方、美意識も読み取ることができる。本展
示では、荷物を支える頭・肩・背・腰・手という
身体の部位ごとに運搬道具を紹介し、日頃人々が
意識することのない道具の造形と動作との関係を
問い直した。

入場者数：976人

制作物：図録

[https://mauml.musabi.ac.jp/museum/
catalogs/19789/](https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/19789/) 



撮影：稲口俊太

牧野良三——舞台美術における伝達と表現

Ryozo Makino —— Communication and Expression in Set Design

会期：2021年11月29日(月)～12月21日(火)

会場：美術館 展示室4・5

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：武蔵野美術大学 通信教育課程研究室

監修：牧野良三 教授(通信教育課程研究室)

担当：森克之

広報印刷物・図録デザイン：谷田幸

概要：

長年にわたって多くの舞台美術のデザインや商業施設・テーマパークの開発・デザイン設計を行い、演出空間における視覚環境の可能性を追求してきた本学教授牧野良三の自選展。本展では「舞台形式が異なる時、どのように情報の差異を伝え表現するのか」をテーマに構成した。牧野が手掛けた舞台美術のデザイン画や設定資料の数々を展示し、歌劇である「オペラ」と、より音楽に焦点を当てた演奏会形式の「オペラコンチェルト」という形式で上演された演目の資料を比較し、それぞれの舞台において不可欠な視覚情報をどのように掴み、どのように観客に示したのかを提示した。観客と演者をつなぐ装置としての舞台美術の奥深さを改めて考える機会とした。

入館者数：2,342人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/19876/> 



撮影：佐治康生

助教・助手展2021 武蔵野美術大学助教・助手研究発表 Exhibition 2021 Research Associates and Research Assistants

会期：2021年11月29日(月)～12月21日(火)

会場：

美術館 展示室1・2・3、アトリウム1・2、美術館ホール

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：大野智世、竹畠薫

広報印刷物デザイン：矢入幸一

図録デザイン：都築陽

概要：

本学における助教・助手は、日々の研究室運営を担う一方、制作・研究に取り組む一人の作家、デザイナー、研究者として多方面で活躍している。彼らの創作活動や研究成果を学内外に広く紹介する場として、1976年より2019年まで「助手展」を例年開催してきた。43回目を数える本展は、2020年本学に「助教」制度ができて以来初の「助教・助手展」となり、計56名が出品者として参加した。また全ての助教・助手の中から有志による展覧会運営となるなど、運営面の変更もあった。

入館者数：3,627人

制作物：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/19894/> 



撮影：いしかわみちこ

図書館内展示・イベント記録

Exhibitions and Events at the Library

図書館活用ガイダンス

2020年度

5月に図書資料の郵送貸出を始めるにあたり、「OPAC(蔵書目録検索)を使った資料の探し方」の動画を公開した。8月には図書館所蔵の資料紹介として「アーティストブック」「視覚装置」の2件の動画を公開した。



OPAC(蔵書目録検索)を使った資料の探し方

<https://youtu.be/A3a1ydKyvI4>

公開日：2020年5月19日(火)



所蔵資料紹介

①アーティストブック

<https://youtu.be/7kgllphk7HY>

出演：赤塚祐二 美術館・図書館長

公開日：2020年8月14日(金)



②視覚装置

<https://youtu.be/HFR0qeQF838>

出演：橋本典久 非常勤講師(映像学科研究室)

公開日：2020年8月14日(金)

2021年度

5月に「レポートの書き方」「資料の探し方」の2件の動画を公開した。



レポートの書き方

<https://youtu.be/LjlmajUSJfI>

出演：荒川歩 教授(クリエイティブイノベーション学科研究室)

公開日：2021年5月18日(火)



資料の探し方

<https://youtu.be/pnWIIPjFj5o>

出演：長澤忠徳 学長

公開日：2021年5月25日(火)

美大生におすすめの本20選

2020年度

本学の教員・助手から美大生に読んでほしい本を紹介してもらう企画。当初は図書館内での展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う入構禁止措置により企画開始のタイミングでは展示が行えず、まずはウェブサイトで順次情報を公開した。後期に入り図書館大階段での展示を行った。様々な専門領域にまたがる幅広い人選により、学生に対し多様な読書機会を与えることを念頭に置いている。



- Vol.1：高島直之 教授(芸術文化学科研究室)
- Vol.2：今泉洋 教授(デザイン情報学科研究室)
- Vol.3：水上泰財 教授(油絵学科油絵研究室)
- Vol.4：太田琢人 助手(工芸工業デザイン学科研究室)
- Vol.5：圓山憲子 教授(教養文化・学芸員課程研究室)

2021年度

2020年度からの継続企画で、前期・後期で合わせて7名の教員からの紹介とした。前年とは異なり、現物に触れられる機会を優先して図書館内での展示から始め、並行して順次ウェブサイトで情報公開した。



- [前期]
- Vol.6：小林孝亘 教授(油絵学科油絵研究室)
- Vol.7：石塚英樹 准教授(視覚伝達デザイン学科研究室)
- Vol.8：長谷川敦士 教授
(クリエイティブイノベーション学科研究室)
- Vol.9：宮原ひろ子 教授(教養文化・学芸員課程研究室)

- [後期]
- Vol.10：長谷川浩己 教授(建築学科研究室)
- Vol.11：山本靖久 教授(共通絵画研究室)
- Vol.12：加藤幸治 教授(教養文化・学芸員課程研究室)

ムサビ生の自作本展示

展示期間：2020年11月14日(土)～12月19日(土)

場所：図書館1階

図書館での展示にふさわしい「本」の形態をした作品を募集し、14組22点の応募があった。

新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒を行った上で、作品に触って閲覧できる展示を行った。



ブックリサイクル

2019年9月17日(火)から28日(土)までの2週間、当館では初めてとなるブックリサイクルを開催、重複して所蔵している書籍を提供した。予想以上の反響があり、2020年度、2021年度も新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で開催した。

● 2020年度

会期：2020年12月3日(木)、4日(金)、8日(火)、9日(水)、11日(金)、15日(火)、16日(水)、18日(金)

会場：図書館1階

参加者：149名(申込239名から抽選)

冊数：約640冊

概要：

密を避けるため、1日5コマ、1コマあたり参加者を5名に制限し、事前予約制(抽選)とした。全37コマ開催。



● 2021年度「Tentou Fair」

会期：2021年5月18日(火)～21日(金)、25日(火)～28日(金)

会場：図書館1階

参加者：224名(申込416名から抽選)

冊数：約1,200冊

概要：

故三嶋典東教授の蔵書のブックリサイクル。

三嶋先生は、視覚伝達デザイン学科教授在任中の2012年に病のため急逝された。その後、先生の膨大な蔵書が大学に託され整理が続けられてきたが、その一部について、先生の遺志、またご遺族の同意の許、本学学生に寄贈していただけたこととなった。三嶋先生の薫陶を受けた卒業生によるTentou Clubの協力も得、ブックリサイクルの一環として開催した。

事前予約制(抽選)。1コマあたりの参加者を5名に制限し、全40コマ開催。



高校生企画「ブックデザインから考える」



会期：2021年11月14日(日)、12月12日(日)―2回シリーズ

会場：図書館

参加者：1回目6名、2回目5名(神奈川県立上鶴間高校・同菅高校)

概要：

高校生を招聘し選んだ本に自作カバーをかける。

生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及を背景として、「読書離れ」「活字離れ」が言われて久しいが、それは「本」という媒体の力が落ちたのか？ それでも「本」は存在し続け、いざ購入するとなると、CDの「ジャケ買い」と同じように、表紙が気になって手に取ることもある。

表紙のデザインを考えるということには、本を手にとってもらうために、人に何をどう伝えるか、様々なコミュニケーションの方法論を駆使する「学び」がある。



- ・当館が持っているコレクションの説明と、本に関わる展示会も鑑賞。
- ・1人1冊、好きな本を選んで持ってくる。
- ・何故、それを選んだか、発表。
- ・1ヶ月後、それぞれ自分が作ったカバーを実際に掛けて、プレゼン。意見交換。



中村とうようポピュラー音楽コレクションをめぐって 「とうようズ・デイ2021 ポピュラー音楽の起源とその歴史をふり返る」



日時：2021年7月31日(土)

会場：オンライン ライブ配信

出演者：北中正和(音楽評論家)、田中勝則(音楽評論家)

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

概要：

ポピュラー音楽の起源と歴史を解説するトークイベントをライブ配信形式で行った。(2021年10月5日アーカイブ版として公開。)
グローバルヒストリーの中でのポピュラー音楽の位置付けとその発生の過程を、SP盤など世界各地のアナログレコードを再生しながら紐解いた。書籍やレコードジャケットにも触れており、トークの内容・関連情報をデータベース「地球が回る音」でも特集記事を組んで紹介している。

アーカイブ版URL：<https://youtu.be/ZydnN87IATM> 

●イメージライブラリー上映会イベント

The Image Library Screening Event

芸術文化学科×イメージライブラリー協働企画

表現の源流を探る—ドキュメンタリー映画『うたのはじまり』 特別上映+ポストトーク

日時：2020年11月2日(月)16:45-19:20

会場：美術館ホール、中継会場、オンライン

主催：武蔵野美術大学芸術文化学科研究室、
イメージライブラリー

協力：SPACE SHOWER FILMS



概要：

芸術文化学科杉浦幸子教授の3年ゼミ生とイメージライブラリーの協働プロジェクトとして、ドキュメンタリー映画『うたのはじまり』の上映とポストトークを開催した。監督は、2010年に芸術文化学科を卒業した河合宏樹氏。河合氏は、2014年に鉛屋法水氏が富士見丘教会で行ったライブ公演をきっかけに、耳が聞こえない齋藤陽道氏と妻の盛山麻奈美氏(写真家)に出会った。手話による2人の対話が美しく、その瞬間から「2人を撮りたい」という思いが芽生え撮影に挑み、このドキュメンタリー映画が生まれた。

本上映会では、デザイン情報学科の卒業生である小林紗織/小指氏が制作を担当した「SCORE DRAWING」を用いた「絵字幕版」を上映した。上映後のポストトークでは、監督と杉浦ゼミ生が登壇し、参加者からの質問を交えながら映画の背景を探った。新型コロナウイルス感染症対策として、本会場の定員を30人に制限し、学内中継会場、オンライン会場を設けて開催した。

入館者数等：美術館ホール 30人、中継会場 5人、オンライン(延べ視聴者数)224人

● イベント一覧 Events List

2020年度

イベント…5件

美…美術館／民…民俗資料室／イ…イメージライブラリー／研…研究室

担当	日時	イベント名	出演者	展覧会名	会場
美	10月9日	ギャラリートーク(録画配信)	脇谷徹 共通彫塑研究室 教授 赤塚祐二 油絵学科 教授／ 美術館・図書館長	脇谷徹—素描ということ	展覧会場
民	10月17日 17:00-18:30	展覧会先行オンラインイベント 昔から今につながる疫病退散 (ライブ配信)※1	飯倉義之 國學院大學 文学部日本文学科 准教授	民俗資料室ギャラリー展示 28 「紙・木・藁にみる祈りの造形」	民俗資料室 収蔵展示室
イ	11月2日 16:45-19:20	芸術文化学科×イメージ ライブラリー協働企画 表現 の源流を探る—ドキュメンタ リー映画『うたのはじまり』 特別上映+ポストトーク※2	河合宏樹 映画監督、芸術文化学科卒	—	美術館ホール、 第10講義室(中継)、 オンライン
研	11月19日	十時啓悦 × 西川聡 トーク ショー(録画配信)	十時啓悦 工芸工業デザイン学科 教授 西川聡 工芸工業デザイン学科 教授	十時啓悦—樹木と漆と暮らし	展覧会場
美	12月14日 18:00-19:30	トークイベント(ライブ配信)	松浦寿夫 本展企画協力・美学美術史研究室教授 石川卓磨 本展出品作家・芸術文化学科およびクリエイ ティブイノベーション学科非常勤講師 小林耕平 本展出品作家・油絵学科准教授 杉浦藍 本展出品作家・油絵学科および彫刻学科 非常勤講師 鈴木基真 本展出品作家・視覚伝達デザイン学科 非常勤講師 後藤映則 本展出品作家・視覚伝達デザイン学科 専任講師 富井大裕 本展出品作家・彫刻学科准教授 森田浩彰 本展出品作家・クリエイティブイノベーション 学科非常勤講師	部屋と庭 隔たりの形式	椅子ギャラリー

※1 教育普及活動報告にも記載がある

※2 イメージライブラリー上映会イベントにも記載がある

2021年度

イベント…7件

美…美術館／図…図書館／他…その他

担当	日時	イベント名	出演者	展覧会名	会場
美	4月29日 16:30-18:00	参加作家クロストーク (ライブ配信)	小谷元彦 本展出品作家 棚田康司 本展出品作家 西尾康之 本展出品作家 三沢厚彦 本展出品作家／本展監修者／彫刻学科 教授	オムニスカルプチャーズ —彫刻となる場所	美術館ホール
美	5月22日 16:30-18:00	参加作家クロストーク (ライブ配信)	伊藤誠 本展出品作家／彫刻学科教授 金氏徹平 本展出品作家 杉戸洋 本展会場構成 三沢厚彦 本展出品作家／本展監修者／彫刻学科 教授 大石雅之 建築家	オムニスカルプチャーズ —彫刻となる場所	美術館ホール
他	5月28日 17:00-18:30	ポリフォニックなタベ (ライブ配信)	石川卓磨 美術作家／美術批評／大学院造形構想 研究科・芸術文化学科非常勤講師 石崎朝子 美術作家／大学院造形研究科彫刻コース 1年 大石一貴 彫刻家 勝俣涼 美術批評・表象文化論／芸術文化学科助教 gnck 評論家 前田春日美 美術家	オムニスカルプチャーズ —彫刻となる場所	美術館ホール
美	5月29日 16:30-18:00	参加作家クロストーク (ライブ配信)	青木野枝 本展出品作家 杉戸洋 本展会場構成 長谷川さち 本展出品作家 水沢勉 神奈川県立近代美術館 館長	オムニスカルプチャーズ —彫刻となる場所	美術館ホール
美	6月3日 17:00-18:30	近代彫刻研究者がみる、 オムニスカルプチャーズ (ライブ配信)	小田原のどか 彫刻家／彫刻研究 神尾玲子 群馬県立館林美術館 学芸員 黒川弘毅 彫刻学科教授 藤井明 小平市平櫛田中彫刻美術館 学芸員	オムニスカルプチャーズ —彫刻となる場所	美術館ホール
美	6月12日 16:30-18:00	参加作家クロストーク (ライブ配信)	須田悦弘 本展出品作家 舟越桂 本展出品作家 三沢厚彦 本展出品作家／本展監修者／彫刻学科 教授 森啓輔 千葉市美術館 学芸員	オムニスカルプチャーズ —彫刻となる場所	美術館ホール
図	5月 18日～21日、 25日～28日 12:05-13:21	ブックリサイクル 「Tentou Fair」※ (故三嶋典東教授の蔵書を学 生還元)	—	—	図書館1階

※図書館内展示・イベント記録にも記載がある。

所蔵品の公開

Release of Our Collections

● 中村とうようポピュラー音楽コレクションデータベースの公開

Release of Toyo Nakamura Popular Music Collection Database



公開日：2020年11月9日(月)

中村とうようコレクションデータベースをリニューアルし、“中村とうようポピュラー音楽コレクション「地球が回る音」”として公開した。「地球が回る音」というタイトルは、氏の同名の著作から取っている。

これまでの機能を踏襲し、SPレコードをはじめとした音源資料、図書・雑誌、映像資料、楽器を横断して検索することが可能となっているほか、学内ネットワーク環境を通じては、デジタル化されたレコード音源や中村氏が執筆した解説・雑誌記事などにアクセスできる。

本リニューアルではスマートフォンでの利用に主眼を置き、デジタル化音源の再生機能を充実させた。

中村とうようポピュラー音楽コレクション「地球が回る音」

URL：https://collections.musabi.ac.jp/nakamura_toyo/home/ 

● 杉浦康平デザインアーカイブ「デザイン・コスモス」の公開 Release of Kohei Sugiura Design Archive "Design Cosmos"



2021年6月30日(水)、当館所蔵「杉浦康平デザインアーカイブ」を紹介するウェブサイト「デザイン・コスモス」を公開した。杉浦康平氏は我が国のデザイン界の巨匠として世界中から信望を集めるグラフィックデザイナー。当サイトは、杉浦氏がスタッフと共に半世紀以上にわたって手掛けた数千点に及ぶデザイン作品を三次元的に再現したオンライン作品集である。宇宙空間に浮遊する杉浦デザイン作品の世界を、誰でも自由に、探索し、動かし、選択し、驚き、遊び、学び、楽しむことができる。サイトオープンにあたり第一弾として公開したのは杉浦氏自ら厳選したブックデザイン作品186点。今後も雑誌デザインやポスター作品など随時追加していく計画である。

杉浦氏がデザインした美術書や写真集の多くは高い専門性をもち、工夫を凝らした造本で小部数刊行された。美術館や図書館に美術作品として収蔵・展示され、その美しさは鑑賞者に感動を与えてきた。一方、全集・シリーズや単行書、事典、辞書は一般書籍として流通し、独創的なアイデアで装われた本たちは書店棚で異彩を放ち、人々に新鮮な驚きをもたらすとともに、新しい装本文化の誕生を告げるものとなった。

刊行から時を経た現在、読者の眼に触れる機会が限られた本たちを、実際に手に取って見るような擬似的体験を可能にするために、ユーザーが自由に操作できるインタラクティブ（双方向相互作用）機能を開発。これは、「紙の集合体としての本の時空」を意識した杉浦氏のデザイン手法を三次元空間に託して提示する新しい試みである。

「杉浦康平デザインアーカイブ」概要

・デザイン作品

書籍(5,000点)、雑誌(2,000点)、レコードジャケット(250点)、ポスター(900点)、その他グラフィック作品

・関連資料

試作、版下、校正紙など思考や制作の過程を辿るプロセス資料

・旧蔵書コレクション

杉浦康平氏旧蔵「アジア図像研究書コレクション」(3,500点)

・旧蔵LPレコードコレクション

杉浦康平氏旧蔵「現代音楽レコードコレクション」(1,500点)

杉浦康平デザインアーカイブ「デザイン・コスモス」

URL : https://collections.musabi.ac.jp/sugiura_kohei/ 

●大辻清司アーカイブ フィルムコレクション第5巻及び第6巻の刊行

Publication of Kiyosuji Otsuji Photography Archive Film Collection Vol. 5 and Vol. 6

写真家大辻清司（1923–2001）の創作活動をほぼ網羅する当館所蔵の特別コレクション「大辻清司アーカイブ」。2008年の寄贈受入より整理研究に着手し、その成果を展覧会「大辻清司フォトアーカイブ：写真家と同時代芸術の軌跡1940–1980」（2012）や、プリント作品1,613点に関する目録『大辻清司：武蔵野美術大学 美術館・図書館所蔵作品目録』（2016）等により公開してきた。2017年からは『大辻清司アーカイブ フィルムコレクション』と題する撮影フィルム原板に関する目録シリーズの刊行を開始した。常に写真表現を探究し、写真の可能性を探っていた大辻の撮影フィルムには、卓越した撮影技術と造形的思考に裏打ちされた表現が内包されている。それらのイメージは必ずしも紙焼きされたプリント作品として存在するわけではないが、フィルムを1コマ単位でつぶさに検証することは写真表現の在り方を探る契機となり得る。

大辻清司アーカイブ フィルムコレクション

第5巻『具体』

刊行年月：2021年3月／頁数：96

わが国を代表する前衛美術グループである具体美術協会（具体）。吉原治良を精神的な柱とし、関西を拠点に活動していた具体にとって1956年は、東京での展覧会や吉原によるマニフェスト「具体美術宣言」（『芸術新潮』1956年12月号掲載）等により注目が高まっていた時期である。そして翌57年には、フランスの美術評論家ミシェル・タピエとの交流を通じてアンフォルメル的な表現へと収斂していく——。大躍進となるこの2年間の東京における活動を、大辻は三度撮影している（第2回具体美術展、「舞台を使用する具体美術」東京公演、第4回具体美術展）。過激なアクション面ばかりが語られがちな初期の具体だが、大辻が記録した映像には彼らが抱く活動理念を見出すことができる。当巻は具体初期のリアルな姿を再提示することにより、具体の表現と理念が正しく検証されることを期待するものである。

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/17385/> 



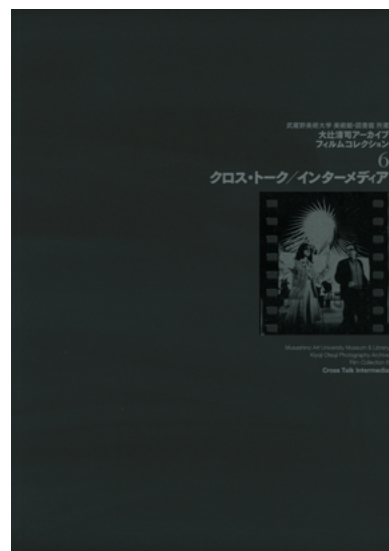
大辻清司アーカイブ フィルムコレクション

第6巻『クロス・トーク／インターメディア』

刊行年月：2022年3月／頁数：104

1969年2月に国立代々木競技場第二体育館で開催された「クロス・トーク／インターメディア」は、アーティストとエンジニアの協働、アートとテクノロジーの結合を目指した、わが国初めの大規模なインターメディアの祭典。このイベントの成功は、翌年開催される日本万国博覧会へのひとつの試金石として、人々の期待や関心を高めることにもつながった。美術出版社の依頼により会場でのリハーサルに立ち会った大辻の撮影フィルムには、イベントの生成過程やアーティストらの演奏風景、組みあげられた最先端電子機器の数々が記録されており、イベントの子細を知るうえで貴重なドキュメントといえる。また、未知の視聴覚体験を実現するべく試行錯誤するアーティストやエンジニアの表情、シークエンスで捉えられた実況シーンのダイナミズムなど、大辻ならではの優れた写真表現としても評価できる映像である。

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/20109/> 



『大辻清司アーカイブ フィルムコレクション』既刊

第1巻『舞台芸術』（2017年3月刊行）

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/11417/> 

第2巻『人間と物質』（2018年3月刊行）

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/11934/> 

第3巻『アトリエ訪問』（2019年3月刊行）

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/16038/> 

第4巻『1975』（2020年3月刊行）

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/16811/> 

美術館・図書館・民俗資料室・イメージライブラリー紹介動画

Introduction movies of the Museum, Library, Folk Art Gallery and Image Library

2020年度及び2021年度の東京都における緊急事態宣言に伴う入構禁止措置により、例年開催していたオリエンテーションやガイダンスが中止になったため、それに代わるものとして、美術館・図書館・民俗資料室・イメージライブラリーの4施設を紹介する動画を制作し本学Webで公開した。動画では、それぞれの施設の概要、また利用や活用の方法等を紹介している。

URL: <https://www.youtube.com/playlist?list=PLvd047w12SEvBE-UZ4DUyu2uaBU-gq-11> 

美術館紹介動画



図書館紹介動画



民俗資料室紹介動画



イメージライブラリー紹介動画



2 活用/提供

2 Education / Lending Activities

教育普及活動報告

Education Programs

小中学生から高校生、大人と幅広い年齢層を対象に、当館で所蔵している資料を通して美術・デザイン等にふれ、本学の美術教育やコレクションを知ってもらう機会となるようなプログラムを実施している。

毎年企画しているイベントの他に、当館が開催する展覧会等をさらに深く、身近に感じてもらえるような関連企画も実施した。

2020年度

美…美術館／図…図書館／民…民俗資料室

担当	日時	タイトル	対象／人数	内容	記録写真
美	8月22日 13:00-16:00	ムサビ・キッズプログラム オンライン版「おやこでミニチュア チェアをつくろう!」	小中学生 親子23組 32名	椅子コレクションの中から1脚を、5分の1サイズにしたミニチュアを作成する。初のオンライン開催となった本プログラムでは、工程をライブ配信し、事前に郵送したキットを参加者が各家庭で組み立てた。	
美	9月30日 13:20-14:15	田園調布学園高等部 (芸術文化学科コラボ授業)	高校生7名	高校生が下調べをした椅子の実際の使用感について、芸文生がオンラインでレポートし、高校生はそれを下地にオリジナルの椅子を考案した。	
美	10月10日 13:30-16:30	「脇谷徹一素描ということ」 ワークショップ「粘土で『素描』 自分の顔をじっくり見てみる」	18名	脇谷徹教授が普段の授業で行ってきた粘土を用いた「素描」を行った。鏡を見ながら自分の顔の像を作ること、日常とは違う目線で対象を捉えることを体験した。	
図	10月16日～ 12月26日	美大生におすすめの本20選※1	全学年	本学教員、助手が選んだ美大生にすすめる本を展示し、紹介した。今回は、高島直之教授、今泉洋教授、水上泰財教授、太田琢人助手、圓山憲子教授。	
民	10月17日 17:00-18:30	民俗資料室ギャラリー展示28 「紙・木・葉にみる折りの造形」 展覧会先行オンラインイベント 昔から今につながる疫病退散 ※2	約50名	國學院大学の飯倉義之先生を講師に迎え、コロナ禍の鎮静化への願いもあって話題になった妖怪「アマビエ」や「アマビコ」についてのお話や、民俗資料室に収蔵されている疫病退散に関連する資料を紹介。	

※1 図書館内展示・イベント記録にも記載がある

※2 イベント一覧にも記載がある

2021年度

美…美術館／図…図書館／民…民俗資料室

担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
美	6月16日 13:00-14:30	田園調布学園高等部 (芸術文化学科コラボ授業)	高校生8名	2020年度に続く、2回目の田園調布学園と芸術文化学科のコラボ授業。高校生が下調べをした椅子の実際の使用感について、芸文生がオンラインでレポートし、高校生はそれを下地にオリジナルの椅子を考案した。	
美	8月21日 13:00-16:00	ムサビキッズプログラム オンライン版「おやこでミニチュアチェアをつくらう!」	小学校 3～6年生と その保護者 /30組	オンラインでは2回目となる椅子コレクションを基にしたミニチュアチェア作成のワークショップ。アルヴァ・アアルトの《ヴィーブリー図書館の小椅子 (サイドチェア No. 66)》のミニチュアを製作した。	
美	9月9日 YouTubeにて公開	「令和2年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展」 出品者インタビュー	一般	出品者4名へのインタビュー動画の配信。卒業制作に至るまでの4年間、卒業後の活動など幅広くインタビューを行う事で、本学における美術教育と学生生活の一端を紹介することを目的とした。	
美	10月17日 16:00-17:30	「川口起美雄—I'll be your mirror」 教育普及イベント 公開講座「混合技法 技法から読み解く西洋絵画」+アーティストトーク	一般/19名	技法面から絵画史に触れ、具体的な作家や作品などを例に挙げつつ、参加者のレベルに応じてわかりやすく解説した。また、講座を収録した動画をオンラインで公開した。	
美	11月6日 13:00-16:00	「ART-BOOK: 絵画性と複製性—MAU M&L貴重書コレクション × Lubokの試み」ワークショップ「メゾチントによる銅版画制作 解剖図譜の作品世界を制作体験してみよう」	一般 (中学生以上) /15名	版画技法のほか、本展及び当館所蔵の貴重書に興味を持っていただくため、銅版画技法の一種であるメゾチント技法を用いたワークショップを実施した。	
図	4月19日～ 8月21日	美大生におすすめの本20選※	全学生	本学教員、助教、助手が選んだ美大生にすすめる本を展示し、紹介した。今回は、小林孝亘教授、石塚英樹准教授、長谷川敦士教授。	
図	7月31日 ライブ配信	中村とうようポピュラー音楽 コレクションをめぐって 「とうようズ・デイ2021 ポピュラー音楽の起源とその歴史をふり返る」※	一般	音楽評論家の北中正和氏と田中勝則氏によるトークイベント。「ポピュラー音楽の起源とその歴史」について、当館の中村コレクションの中から世界各地の名曲名演が収録された当時のレコードを再生しながら解説した。	
図	9月9日～ 1月15日	美大生におすすめの本20選※	全学生	本学教員、助教、助手が選んだ美大生にすすめる本を展示し、紹介した。今回は、長谷川浩己教授、山本靖久教授、加藤幸治教授。	
図	①part1 11月14日 10:00-12:30 14:00-16:30 ②part2 12月12日 13:00-16:00	高校生企画「ブックデザインから考える」※	①神奈川県立菅高校 4名/上鶴 間高校2名 ②菅高校 4名/上鶴 間高校1名	図書館が所蔵している本の中から1点を選び、その本を読んで自分なりの表紙デザインを制作。1ヶ月後にプレゼン、意見交換をした。本と文字、ビジュアルの関係を考えるワークショップ。	
美	12月18日 ①11:00-12:00 ②13:00-14:00	民俗資料室ギャラリー展示29 「運ぶ—文化とかたち」関連 イベント 「ムサビキッズ・プログラム 体験!むかしのくらし」	小学校 4～6年生 /7組14名	本展の鑑賞と合わせて、当室所蔵の民俗資料についてクイズなど織り交ぜながら解説し、実際に触れる体験を通して昔のくらしにおける人々の知恵や工夫について紹介した。	

※ 図書館内展示・イベント記録にも記載がある

所蔵品の館外貸出

Loans from Our Collections

● 作品貸出

Loans of Materials Other than Images

2020年度

■ 美術資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
織物見本 (6種類)	テキスタイル	山脇道子	1931年頃	「開校100年 きたれ、 パウハウス—造形芸術の 基礎—」展	新潟市美術館 西宮市大谷記念美術館 高松市美術館 静岡県立美術館 東京ステーションギャラリー	2019年8月3日～9月23日 2019年10月12日～12月1日 2020年2月8日～3月22日 2020年4月11日～5月31日 2020年7月17日～9月6日
「みちこ・ておりき」購入案内 (2枚)	印刷物	(山脇道子)	1934年頃			
「パウハウス編物個展」案内カード (2枚)	印刷物	(山脇道子)	1933年			
「国際建築」1932年12月号 (2冊)	雑誌		1932年			
図解	デッサン	ワシリー・ カンディンスキー	1931年	「日本・ポーランド国交樹立 100周年記念 ポーランド の映画ポスター」	国立映画アーカイブ 京都国立近代美術館	2019年12月13日～ 2020年3月8日 2020年3月17日～7月12日 ※新型コロナウイルス感染拡大の 影響により会期変更
Zawrót głowy	ポスター	ロマン・ チェシレヴィチ	1958年			
Billy klamca	ポスター	ヴァルデマル・ シフィエジ	1963年			
Fala	ポスター	レフ・マイェフスキ	1986年			
Nostalgia	ポスター	スタシス・ エイドリゲヴィチュス	1983年			
Riff-Raff	ポスター	ヴィクトル・ サドフスキ	1991年			
Danton	ポスター	ウィエスワフ・ ヴァウクスキ	1983年			
Sposób na kobiety	ポスター	ユリアン・パウカ	1965年			
Lucia	ポスター	アンジェイ・ クライェフスキ	1968年			
Christine	ポスター	ヤクブ・エロル	1983年			
Harfa birmanska	ポスター	アンジェイ・ ボンゴフスキ	1985年			
Harakiri	ポスター	ヴァルデマル・ シフィエジ	1962年			
Dziecko Rosemary	ポスター	ヴァルデマル・ シフィエジ	1968年			
Leca zurawie	ポスター	ロマン・ チェシレヴィチ	1957年			
Camera Buff	ポスター	アンジェイ・ ボンゴフスキ	1979年			
Posada	ポスター	ヴァルデマル・ シフィエジ	1961年			
Boskie ciała	ポスター	ヤン・ ムウオドジェニェツ	1984年			
Most na rzece Kwai	ポスター	ミェチスワフ・ ヴァシレフスキ	1957年			
Inaczej niż w raju	ポスター	アンジェイ・ クリモフスキ	1984年			
Poza prawem	ポスター	アンジェイ・ クリモフスキ	1986年			
Zet i dwa zera	ポスター	ヴィクトル・ サドフスキ	1985年			
みどりのリズム	石膏原型	清水多嘉示	1951年	「開館40周年記念 新収蔵 清水多嘉示 石膏原型の 全貌」	ハケ岳美術館 (原村歴史民俗資料館)	2020年4月1日～7月5日
				「清水多嘉示 肖像彫刻と モニュメント」		2020年9月19日～12月6日 ※新型コロナウイルス感染拡大の 影響により会期変更
				「清水多嘉示展」		2020年12月12日～2021年3月 25日 ※新型コロナウイルス感染拡大の 影響により会期変更
ソニービル (3種)	写真	石元泰博	1966年	「生誕100年 石元泰博写真展」	高知県立美術館	2021年1月16日～3月14日
キネカリグラフ (4種)	写真	大辻清司、 石元泰博、辻彩子	1955年			

■ 民俗資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
五寸曲げ柄笊	竹製品	—	—	「Basketclub@ Karimoku」	Karimoku Commons Tokyo	2021年2月12日～3月31日
味噌漉し笊	竹製品	—	—			
味噌漉し	竹製品	—	—			
手籠	竹製品	—	—			
背負い籠 2点	竹製品	—	—			
手籠	竹製品	—	—			
籠	竹製品	—	—			
水切り笊	竹製品	—	—			
浅籠	竹製品	—	—			
魚捕り	竹製品	—	—			
筥	竹製品	—	—			
行李魚籠	竹製品	—	—			
洗濯籠	竹製品	—	—			
七夕雛 3点	郷土玩具	—	—	「ひなまつり展2021」	瑞穂町郷土資料館 けやき館	2021年2月13日～3月7日
粉河流し雛	郷土玩具	—	—			
淡島神社守雛	郷土玩具	—	—			
大内人形・雛 2点	郷土玩具	—	—			
絵馬(雛人形)	郷土玩具	—	—			
流し雛	郷土玩具	—	—			
糸びな	郷土玩具	—	—			
壱岐の島八朔雛	郷土玩具	—	—			
青島雛 2点	郷土玩具	—	—			
松本押絵雛・内裏雛 2点	郷土玩具	—	—			
平家雛	郷土玩具	—	—			
なご人形	郷土玩具	—	—			
田舎雛 2点	郷土玩具	—	—			

■ 図書資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
『アジア鳥類図譜』	図書	ジョン・グールド	1891～ 1898年	「デビュー50周年記念 諸星大二郎展」	北海道立近代美術館	2020年11月21日～2021年1月 17日
『ユラニー号およびフィジエンヌ号 世界周航記録:動物図譜編』	図書	ルイ＝クロード・ デ・ソール＝ド・ フレシネ	1824年		イルフ童画館	2021年1月24日～3月13日
『フウチョウ科・ニワシドリ科鳥類図譜』	図書	リチャード・パウ ドラー・シャープ	1891～ 1898年		北九州市漫画ミュージアム	2021年3月20日～5月23日
『コキータ号世界航海記:動物編』	図書	ルイ・イシドール・ デュブレ	1826, 1830年		三鷹市美術ギャラリー 足利市立美術館	2021年8月7日～10月11日 2021年10月23日～12月26日
「American magazine of art」	雑誌	アドルフ・ロース	1904年頃	「小原古邨展」	石川県立歴史博物館	2021年4月24日～6月24日

2021年度

■美術資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
みどりのリズム	石膏原型	清水多嘉示	1951年	没後40年「清水多嘉示 生命と構築性の絵画」第1期	ハケ岳美術館(原村歴史民俗資料館)	第1期:2021年4月3日～7月4日 第2期:2021年9月18日～12月5日
K氏の頭像	ブロンズ	久野和洋	1973年	「久野和洋の世界展」	池田20世紀美術館	2021年6月24日～10月12日
自画像	素描	久野和洋	1965年			
上を向く(自画像)	素描	久野和洋	1982年			
「小鳥への説法図」と卓上静物	素描	久野和洋	1997年～1998年			
横たわる	素描	久野和洋	1998年			
横たわる人(母の像)	素描	久野和洋	2003年			
地の風景	素描	久野和洋	2007年			
裸婦立像	素描	久野和洋	1965年			
男の裸像	素描	久野和洋	1974年			
すわる	素描	久野和洋	1979年			
風神像(2種)	素描	久野和洋	2003年、2007年			
雷神像(2種)	素描	久野和洋	2003年、2007年			
ミケランジェロ作奴隷像(3種)	素描	久野和洋	1975年			
みどりのリズム	石膏原型	清水多嘉示	1951年	「日仏をつなぐ彫刻芸術の系譜－戦後の具象彫刻を牽引した彫刻家たち－」	公益財団法人日仏会館 ギャラリー 主催:公益財団法人日本彫刻会	2021年6月26日～7月9日
いたましき物体	写真	大辻清司	1949年(1998年)	「特別展自転車のある情景」	徳島県立近代美術館 八王子市夢美術館	2021年7月17日～9月5日 2021年9月17日～11月23日
なんでもない写真(日が暮れる)	写真	大辻清司	1975年(1987年)			
小名木川界限	写真	大辻清司	1975年(2001年)			
小名木川界限(3種)	写真	大辻清司	1975年			
なりゆき構図(4種)	写真	大辻清司	1975年			
日が暮れる	写真	大辻清司	1975年(1987年)			
無題(2種)	写真	大辻清司	1975年			
ソレとソレの間	写真	大辻清司	1975年			
ノアビル	模型	設計:白井晟一	2013年	「渋谷区立松濤美術館 開館40周年記念 白井晟一入門」	渋谷区立松濤美術館	2021年10月23日～12月12日(第1部のみ)
原爆堂		模型制作監修:岡崎乾二郎				
佐渡相川 興蓮寺縁起	日本画	川崎千虎模	1856年～1901年	「川崎家の系譜－東山魁夷と川崎家の画家たち－」	市川市東山魁夷記念館	2021年11月6日～2022年3月13日
土蜘蛛草子絵巻	日本画	川崎千虎模	1854年			
信貴山縁起 延喜加持の巻	日本画	川崎小虎模	1907年～1930年			
平家納経見返蘆手絵図案	日本画	川崎千虎模	1907年～1930年			
越境する光	版画	池田良二	1991年	たましん美術館×武蔵野美術大学「The Adventure of Fine Art Prints」	たましん美術館	2022年1月15日～2月20日(前期のみ)
à/avec Antoni Tàpies Scattered Seeds / 散種		池田良二	1979年			
触“テーブルの上で”Ⅰ	版画	吉田克朗	1995年			
触“テーブルの上で”Ⅱ		吉田克朗				
夢の地面 Dreams of the Land 2010	版画	柳澤紀子	2010年			
夢の地面 Dreams of the Land 2010		柳澤紀子				

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
Work・79-B	版画	永井研治	1979年	たましん美術館×武蔵野美術大学「The Adventure of Fine Art Prints」	たましん美術館	2022年1月15日～2月20日 (前期のみ)
WL-99-7	版画	永井研治	1999年			
『にんげん』表紙絵(10種)	素描	丸木俊	1970年代	屋根裏ギャラリー 「にんげん展」	アトリエ西浜 大阪市人権・同和教育研究会と浪速地区歴史展示室	2022年3月26日～4月3日

■ 図書資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
『日本列島の地域構造・図集』日本地域開発センター、1967年 522G 海運貨物の流量	図書 (シート)	木内信蔵、 丹下健三	1967年	「丹下健三 1938-1970 ―戦前からオリンピック・万博まで―」	国立近現代建築資料館	2021年7月21日～10月10日
211G 人口分布の歴史と将来	図書 (シート)	木内信蔵、 丹下健三				
425G 収穫面積構成による作物結句型	図書 (シート)	木内信蔵、 丹下健三				
411G1 農協用水の理論必要量	図書 (シート)	木内信蔵、 丹下健三				
121G 河川の流量	図書 (シート)	木内信蔵、 丹下健三				

● 画像貸出 Loans of Images

2021年度

■ 美術資料

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2021年 5月15日	みどりのリズム	清水多嘉示	公益社団法人日本彫刻会	新規撮影	掲載	公益社団法人日本彫刻会50周年記念事業 展覧会 「日仏をつなぐ彫刻芸術の系譜—戦後の具象彫刻を 牽引した彫刻家たち—」の会期中における作品撮影 およびその成果物(映像・画像等)の掲載・配信
2021年 5月18日	POMPEII・79(Part1) [《彫る》から]壁から	戸谷成雄	武蔵野美術大学出版局	館蔵画像 データ利用	掲載	戸田裕介編『へらべらの彫刻』 第6章に参考図版として掲載
2021年 5月14日	駒沢公園体育館・管制塔 図面 駒沢公園体育館・管制塔 竣工写真	芦原義信	ジャパン・ハウス	館蔵画像 データ利用	展示	展覧会「Tokyo 1964 明日へのデザイン展」 データを印刷したものを展示
2021年 7月7日	ノア・ビル模型写真	撮影:加藤健	渋谷区立松涛美術館	館蔵画像 データ利用	掲載	「白井晟一入門展」 広報チラシ・HP・SNS掲載
2021年 7月1日	野村万作氏のポスター、UCLAでの公演	浅葉克己	株式会社桜映画社	館蔵画像 データ利用	掲載	記録映画『野村万作から萬斎、裕基へ』
2021年 8月1日	第10回 日本国際美術展—人間と物質	撮影:中平卓馬 デザイン: 多木浩二	武蔵野美術大学 出版局	館蔵画像 データ利用	掲載	高島直之著『イメージかモノか——日本現代美術の アポリア』
2021年 8月4日	原爆の図 高張提灯	丸木位里・俊	一般社団法人ひょうご 部落解放・人権研究所	館蔵画像 データ利用	掲載	『ひょうご部落解放』180号
2021年 7月19日	五万の読者と手を握れ 全民衆の味方無産者 新聞を読み!! 三科会員展覧会 劇場の三科	柳瀬正夢 村山知義	Lenbachhaus Munich	館蔵画像 データ利用	展示	展覧会「GROUP DYNAMICS—COLLECTIVES OF THE MODERNIST PERIOD」にてデータを印刷した ものを展示
2021年 8月5日	大日本製糖株式会社ポスター	町田隆要	株式会社文生書院	館蔵画像 データ利用	掲載	田島奈都子著『ポスター万歳 百窃百笑』
2021年 8月20日	佐渡相川 興蓮寺縁起 土蜘蛛草紙絵巻 信貴山縁起 尼寺の巻 百鬼夜行絵巻(一) 百鬼夜行絵巻(二) 年中行事絵巻 呉春 信貴山縁起 延喜加持の巻 平家納経 経巻見返芦手絵(厚絵) 源氏物語絵巻 柏木(一) 伴大納言絵巻 一 源氏物語絵巻 東屋(一)	川崎千虎模 川崎小虎模	市川市東山魁夷記念館	館蔵画像 データ利用	掲載	令和3年度特別展「川崎家の系譜—東山魁夷と川崎家 の画家たち」のチラシおよび図録への掲載
2021年 8月22日	夜	前田常作	山下晃平	—	掲載	表象文化論学会『表象』第16号 ※掲載は投稿論文が採択された場合
2021年 8月25日	2012年度優秀賞受賞作品 場の表出 2015年度優秀賞受賞作品 識る	高橋義明 吉澤大起	建築学科研究室	館蔵画像 データ利用	掲載	建築学科PR動画内への掲載
2021年 8月28日	雷神-Q9	戸谷成雄	市原湖畔美術館	館蔵画像 データ利用	掲載	「戸谷成雄 森一湖 再生と記憶」のチラシ・ ポスター、広報用素材
2021年 9月2日	消失する主体 消失する客体(手) 消失する客体(球)	小谷元彦	新潟市美術館	館蔵画像 データ利用	掲載	「リアルのゆくえ—現代の作家たち」展図録
2021年 9月14日	秀和青山レジデンス	撮影:村井修	株式会社 トゥーヴァージンズ	館蔵画像 データ利用	掲載	『秀和レジデンス図鑑』
2021年 9月14日	「近代日本彫刻展」(2015年)会場風景	撮影:佐治康生	国立近代美術館	館蔵画像 データ利用	掲載	所蔵品の解説動画(YouTubeにて公開)
2021年 9月17日	形而工房サイドチェア	形而工房	株式会社ウェッジ	館蔵画像 データ利用	掲載	月刊「ひととき」11月号

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2021年 9月17日	T2/TFG2	ディーター・ラムス 発行: Braun	Color with	館蔵画像 データ利用	掲載	社団法人日本流行色協会研究会: 日本色彩研究所 発表用資料
	HL 70	ラインホルト・ヴァイス ユルゲン・グリュウゲル 発行: Braun				
	KMM 2	ラインホルト・ヴァイス 発行: Braun				
	special 35	不詳 発行: Braun				
	regie 510	ディーター・ラムス 発行: Braun				
	L 480/1	ディーター・ラムス 発行: Braun				
	T3 ※卓上ラジオ	ディーター・ラムス 発行: Braun				
	D40	ディーター・ラムス 発行: Braun				
	transistor 2	ディーター・ラムス 発行: Braun				
	KMM 20	ラインホルト・ヴァイス 発行: Braun				
	T1000	ディーター・ラムス 発行: Braun				
	phase 3	ディートリッヒ・ルプス 発行: Braun				
	ET66	ディーター・ラムス ディートリッヒ・ルプス 発行: Braun				
	SK4	ディーター・ラムス ハンス・グジェロ 発行: Braun				
	T3 ※ポケット・トラジジスタラジオ	ディーター・ラムス 発行: Braun				
2021年 11月22日	川または州 展覧会「新国誠一の《具体詩》 —詩と美術のあいだに」図録掲載画像 無残 展覧会「新国誠一の《具体詩》 —詩と美術のあいだに」図録掲載画像	新国誠一	人工知能美学芸術研究会	館蔵画像 データ利用	展示	展覧会「人工知能美学芸術展: 美意識のハード プロブレム」 会場: アンフォルメル中川村美術館
2021年 12月16日	美術学校—モデルの1日—	松樹路人	株式会社ハートアート	館蔵画像 データ利用	掲載	『松樹路人画集』
2021年 12月21日	駒沢公園体育館、管制塔 武蔵野美術大学 アトリエ棟	芦原義信	三重大学	館蔵画像 データ利用	掲載	三重大学大学院工学研究科建築専攻 卒業論文
2022年 1月27日	ソニービル(竣工写真: 新建築社撮影)	芦原義信	京都芸術大学	館蔵画像 データ利用	掲載	京都芸術大学通信教育学部デザイン科建築デザイン コース「はじめて学ぶ芸術の教科書 デザイン編 つくるためによむ編」

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2022年 1月24日	プラスチックアームチェアRAR	チャールズ・イームズ	誠文堂新光社	館蔵画像 データ利用	掲載	寺原芳彦著『イームズを読み解く』
	チューリップ・アームチェア	エーロ・サーリネン				
	スモールダイヤモンドチェア	ハリー・ベルトイア				
	MRチェア(MR10)	ミース・ファン・デル・ローエ				
	ラウンジチェア(KMチェア)	剣持勇				
	スポークチェア	豊口克平				
	バタフライスツール	柳宗理				
	ひも椅子	渡辺力				
	ワシリーチェア	マルセル・ブロイヤー				
	パイミオチェア	アルヴァ・アアルト				
	アームチェア	形而工房				
	ランディチェア	ハンス・コーレイ				
2022年 2月24日	水木清華之居図	傅抱石	長野県立美術館	館蔵画像 データ利用	掲載	展覧会「傅抱石・傅益瑤 父娘展」のチラシ・館のウェブサイト、図録
	撫黄鶴山樵秋堅鳴泉圖					
	鶏図					
	枝上鳥鳴図					
	蓮池図					
	瓢箪図					
2022年 2月22日	Nyチェア	新居猛	放送大学	館蔵画像 データ利用	掲載	放送大学オンライン科目「椅子クラフツ文化の社会経済学」
	ドムスチェア	イルマリ・タピオヴァーラ				
	DCW1	チャールズ・イームズ				
2022年 3月3日	駒沢公園体育館 管制塔	芦原義信	三重大学	館蔵画像 データ利用	掲載	日本建築学会大会学術講演梗概集
	武蔵野美術大学 アトリエ棟					
2022年 3月22日	テキスタイルのサンプル	山脇道子	株式会社赤々舎	館蔵画像 データ利用	掲載	「機能と装飾のポリフォニー」展図録
	パウハウス手織物個展 案内カード					
	みちこ・ておりき 購入案内					
2022年 3月30日	ラ・シェーズ	チャールズ&レイ・イームズ	誠文堂新光社	館蔵画像 データ利用	掲載	寺原芳彦著『イームズを読み解く』

■図書資料

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2021年 4月12日	金山明 巨大なバルーン 舞台を使用する具体美術[東京公演]、東京・大手町：産経ホール、1957年7月17日撮影	大辻清司	Centre Pompidou-Metz	館蔵画像 データ利用	掲載	<i>Aerodream: architecture, art, design et structures gonflables</i>
2021年 6月17日	浜松城櫓太鼓の場組上(原本錦絵)1892年	網島亀吉	浜松市博物館	館蔵画像 データ利用	その他	「家康伝承調査事業」の市民向け講座内で、「酒井の太鼓」の伝承を伝える手段の一つとして使用。(プロジェクタ投影)
	浜松城櫓太鼓の場組上(復元品)1892年					
2021年 8月24日	『世界図絵』より1点	コメニウス	株式会社オーム社	館蔵画像 データ利用	掲載	太田曉雄著『世界を一枚の紙の上に 歴史を変えたダイアグラムと主題地図の誕生』
	『社会と経済』より38点	オットー・ノイラート				

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2021年 11月18日	いたましき物体 プリント作品複写画像 1949年 陳列窓B プリント作品複写画像 1955年 いつも二つ、机の上にある鉱石標本 プリント作品複写画像 1974年 なりゆき構図 プリント作品模写画像 1975年	大辻清司	株式会社小学館 文化事業局	館蔵画像 データ利用	掲載	『日本写真大全』第2巻
2021年 12月22日	山口勝弘個展(和光ギャラリー) 1955年、1956年、1958年撮影 フィルム原板スキャンデータ 9点 山口勝弘と鈴木博義 (東通工にてオートスライド制作) 1953年撮影 フィルム原板スキャンデータ 実験工房 オートスライド制作 1953年撮影 フィルム原板スキャンデータ パレエ実験劇場「未来のイヴ」 1955年撮影 フィルム原板スキャンデータ パレエ実験劇場「イルミナシオン」 1955年撮影 フィルム原板スキャンデータ パレエ実験劇場「食食王子」 1955年撮影 フィルム原板スキャンデータ 円型劇場形式による創作劇のタ「月に憑かれた ピエロ」 1955年撮影 フィルム原板スキャンデータ 「パレエ実験劇場」 1955年撮影 フィルム原板スキャン画像のスライド動画データ 「円型劇場形式による創作劇のタ」 1955年撮影 フィルム原板スキャン画像のスライド動画データ	大辻清司	神奈川県立近代美術館	館蔵画像 データ利用	展示 掲載	「山口勝弘展 『日記』(1945-1955)に見る」展 (2022年2月12日～4月17日)の①図録、 ②広報印刷物、③ウェブサイト展覧会ページ、 ④会場パネル、⑤上映映像
2022年 1月11日	円型劇場形式による創作劇のタ「月に憑かれた ピエロ」 1955年撮影 フィルム原板スキャンデータ	大辻清司	法政大学野上豊一郎記念 能楽研究所	館蔵画像 データ利用	掲載	『A Companion to No and Kyogen 』(Brill社)PDF 版をオンラインで分売
2022年 1月12日	『パン』第1号 1895年 『コロリコ』第1号 1898年		一般社団法人春陽会	館蔵画像 データ利用	掲載	「春陽会初期会員と雑誌との関わり」展示図表 『春陽会 会誌』
2022年 2月3日	瀧口修造(東京・新宿の喫茶店シャトーにて) 1953年撮影 フィルム原板スキャンデータ	大辻清司	株式会社光文社	館蔵画像 データ利用	掲載	圓井義典著『「現代写真」の系譜(仮)』
2022年 3月4日	劇団作品座「正義の人々」 1957年撮影 フィルム原板スキャンデータ 2点 第2回円型劇場のタ「若人の歌」 1957年撮影 フィルム原板スキャンデータ ぶどうの会「暗い火花」 1957年撮影 フィルム原板スキャンデータ 2点	大辻清司	神奈川県立近代美術館	館蔵画像 データ利用	展示	「生誕100年 朝倉摂」展の会場パネル、 スライドショー
2022年 3月5日	劇団作品座「正義の人々」 1957年撮影 フィルム原板スキャンデータ 第2回円型劇場のタ「若人の歌」 1957年撮影 フィルム原板スキャンデータ	大辻清司	株式会社青幻舎	館蔵画像 データ利用	掲載	「生誕100年 朝倉摂」展図録兼一般書籍

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2022年 3月8日	「APN」のための構成(オブジェ制作:北代省三) 1953年 プリント作品複写画像	大辻清司	国立新美術館	館蔵画像 データ利用	掲載	文化庁のwebサイト「Art Platform Japan」 https://artplatform.go.jp/ja
	「APN」のための構成(オブジェ制作:山口勝弘) 1953年 プリント作品複写画像					
	陳列窓 1956年 プリント作品複写画像					
	氷紋 1956年 プリント作品複写画像					
2022年 3月11日	第10回日本国際美術展 東京ビエンナーレ'70 「人間と物質」庄司達作品展示風景 1970年撮影 フィルム原板スキャンデータ 2点	大辻清司	愛知県美術館	新規撮影	展示	コレクション展「庄司達作／新聞紙」章解説パネル

■ 民俗資料

受付日	作品名/制作年	作者	申請元	利用種類	用途	掲載メディア名
2022年 3月26日	岩津保遺跡2号人骨副葬土器・貝輪/弥生時代	不明	神奈川県立歴史博物館	新規撮影	掲載	特別展「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—」 図録、展示パネル
	岩津保遺跡5～7号人骨副葬土器/弥生時代					
	岩津保遺跡5～7号人骨副葬貝輪/弥生時代					
	岩津保遺跡 貝製品・骨角製品/弥生時代					
	岩津保遺跡 貝製品/弥生時代					

授業対応実績 Class Supports

本学の教育及び研究に供するため、当館が所蔵する美術資料や図書資料を用いた授業を教員・研究室スタッフと協働して行っている。授業は基本的には対面で行われるが、2020年度から2021年度においては新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、少人数のグループに分けるなどの配慮をして実施。一部授業はオンラインにて行われた。

2020年度

■美術館…27件

月日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
5月29日	芸術文化学科	芸術文化学入門	「令和元年度武蔵野美術大学卒業・修了優秀作品」展の見学[オンライン]	美術館 全館
5月29日	工芸工業デザイン学科	基礎デザインI	椅子作品11点[オンライン]	図書館 大階段
7月9日	通信教育課程	博物館実習	ポスター、椅子、プロダクトなど9点	第10講義室
8月13日	通信教育課程	博物館実習	ポスター、椅子、プロダクトなど9点	第10講義室
9月8日～28日	工芸工業デザイン学科	インテリアデザインVII	椅子21点	研究室
9月29日	芸術文化学科	キュレーター入門	「脇谷徹 —素描ということ」展の見学	展示室2・3、アトリウム1・2
10月3日	共通デザイン・教職課程	工芸II プロダクト制作	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
10月6日	工芸工業デザイン学科	造形総合I類「座る形」	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
10月6日、8日	教養文化・学芸員課程	展示演習	ポスター、椅子、プロダクトなど9点	展示室1
10月29日、30日	工芸工業デザイン学科	造形総合I類「座る形」	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
11月3日、7日	視覚伝達デザイン学科	メディア演習	ポスター7点	第10講義室
11月13日	基礎デザイン学科	表示方法論III	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
11月23日	芸術文化学科	映像デザインI	美術館内の撮影	展示室3、アトリウム1
11月24日	工芸工業デザイン学科	椅子の実測	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
11月26日	日本画学科	—	ギャラリートーク(学生対象)	展示室3・4
12月3日	工芸工業デザイン学科	プロダクトデザイン特論I、II	最終講義として	展示室2
12月8日	芸術文化学科	ヴィジュアルコミュニケーションデザインA	「十時啓悦」展、「山本直彰」展、「所蔵品」展の見学※	展示室2・3、アトリウム2
12月8日	身体運動文化	健康と身体運動文化	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
12月8日	教養文化・学芸員課程	博物館展示論	版画、ドローイング、プロダクトなど10点	第10講義室
12月10日	日本画学科	—	ギャラリートーク(学生対象)	展示室3・4
12月10日	美学美術史	日本美術各論VI	複製卷子、本	図書館・授業スペース
12月11日	日本画学科	—	ギャラリートーク(学生対象)	展示室3・4
12月15日	芸術文化学科	ヴィジュアルコミュニケーションデザインA	「十時啓悦」展、「山本直彰」展、「所蔵品」展の見学※	展示室2・3、アトリウム2
12月17日	日本画学科	—	ギャラリートーク(学生対象)	展示室3・4
12月21日	通信教育課程	博物館実習	ギャラリー内の椅子の閲覧	椅子ギャラリー
12月23日	通信教育課程	博物館展示論	版画、ドローイング、プロダクトなど8点	第10講義室
1月12日、16日	視覚伝達デザイン学科	メディア演習	ポスター7点	第10講義室

※展覧会名称は略称である

■ミュージゼオロジー実習…7件

月日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
8月11日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	美術館概要説明、外部教員公演など	オンライン
8月12日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	プランニングI・II	オンライン
8月14日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	教育普及・外部教員公演	オンライン
9月5日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	美術館実習	美術館、図書館、9号館
9月12日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	美術館実習	美術館、図書館、9号館
9月19日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	美術館実習	美術館、図書館、9号館
9月26日	芸術文化学科	ミュージゼオロジー実習	美術館実習	美術館、図書館、9号館

■ 民俗資料室…7件

月日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
8月11日	芸術文化学科	ミュゼオロジー 実習	民俗資料解説・自由見学[オンライン]	13号館2階収蔵庫
8月12日	通信教育課程	博物館実習	民俗資料解説・自由見学	13号館2階収蔵庫
8月31日	芸術文化学科	造形民俗学Ⅰ	民俗資料解説・自由見学[オンライン]	13号館2階収蔵庫
9月26日	視覚伝達デザイン学科	コンテンツビジュアルライゼーション	民俗資料解説・自由見学	13号館2階収蔵庫
9月29日	芸術文化学科	キュレーター入門	民俗資料解説・自由見学	13号館2階収蔵庫
12月7日	芸術文化学科	造形民俗学Ⅱ	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2階収蔵庫
12月21日	通信教育課程	博物館実習	民俗資料解説・自由見学	13号館2階収蔵庫

■ 図書館…17件

月日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
9月3日	デザイン情報学科	デザイン情報学演習Ⅲ	写本から印刷技術の発明、そして近代デザインまでの印刷史を概観する貴重書の閲覧	研究授業特別閲覧室 参考図書エリア
※9月7日	油絵学科 油絵専攻	絵画基礎Ⅳ	「中村とうようコレクション」の昭和ポピュラー音楽の中から、数曲を蓄音機、レコードプレーヤー、デジタル音源等で聴いてもらい、学生はそこから各自一曲を選び、作品制作のためのモチーフとする	美術館ホール
9月9日	芸術文化学科	造形総合・メディア表現Ⅱ ムービングイメージ	視覚装置の歴史を追うことのできる資料群を展示実際に触れてもらい、視覚効果の体験もしてもらう	参考図書エリア
9月22日	美学美術史	日本美術史研究	『東洋美術大観』閲覧	参考図書エリア カタログエリア
9月22日	視覚伝達デザイン学科	ダイアグラムデザイン	オットー・ノイラート関連資料の閲覧	研究授業特別閲覧室
9月25日	視覚伝達デザイン学科	色彩演習	ジョゼフ・アルバース「Interaction of color」、新島実「Interaction of colors and fonts」等、資料閲覧	研究授業特別閲覧室
9月29日	視覚伝達デザイン学科	ダイアグラムデザイン	日本の地図・ダイアグラムデザイン関連資料(杉浦康平のダイアグラムデザイン作品ほか)閲覧	研究授業特別閲覧室
9月30日	芸術文化学科	造形総合・メディア表現Ⅱ ムービングイメージ	視覚装置の歴史を追うことのできる資料群を展示実際に触れてもらい、視覚効果の体験もしてもらう	参考図書エリア
10月2日	芸術文化学科	ミュゼオロジーと生涯学習	図書館についてのレクチャー	9号館515教室
10月3日	芸術文化学科	造形総合・デザインⅡ キュレーター入門	貴重書、アーティストブックの閲覧	参考図書エリア
10月16日	芸術文化学科	ミュゼオロジーと生涯学習	図書館への質問に答える	9号館515教室
10月19日、 22日、23日、 28日、29日	視覚伝達デザイン学科	構成演習	印刷史、デザイン史関連資料閲覧	研究授業特別閲覧室 カタログエリア
10月28日、29日	映像学科	映像基礎実習	視覚装置、貴重書	参考図書エリア
11月11日	芸術文化学科	映像デザインⅠ	視覚装置の歴史を追うことのできる資料群を展示実際に触れてもらい、視覚効果の体験もしてもらう	参考図書エリア
11月25日	視覚伝達デザイン学科	視覚表現演習E	挿絵本、絵本、リーブル・ダルティスト(画家の版画入本)、写真集の閲覧	研究授業特別閲覧室 カタログエリア
12月10日	美学美術史	日本美術各論Ⅵ	美術と合同で対応。図書資料は、赤本、黒本、黄表紙、合巻、浮世絵を閲覧	研究授業特別閲覧室
12月16日	芸術文化学科	杉浦康平デザイン資料閲覧会	『人間人形時代』『全宇宙誌』の版下資料閲覧	研究授業特別閲覧室 参考図書エリア

※イベント一覧にも記載がある

■ 美術館ホール利用…4件

月日	学科・研究室	授業名等	担当教員・出演者等
10月12日～14日	映像学科	デジタルドラマⅡ	担当教員：小口詩子 教授
10月21日	教養文化・学芸員課程	音楽研究Ⅱ	担当教員：白石美雪 教授
11月30日	空間演出デザイン学科	実在実習Ⅱ／卒業制作	担当教員：津村耕佑 教授
12月17日	教養文化・学芸員課程	音楽学演習Ⅱ コンサート「つながり～2020の軌跡」 (一般ヘラライブ配信)	大石将紀(サクソフォン奏者)、中川賢一(ピアニスト)、有馬純寿(エレクトロニクス) 担当教員：白石美雪 教授

■ イメージライブラリー…0件(新型コロナウイルス感染症対応で研究用映像視聴室の利用を制限した)

2021年度

■美術館…38件

月 日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月15日	彫刻学科	彫刻H	「オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所」展	展示室1・2、アトリウム
4月19日	工芸工業デザイン学科	基礎実習I 座る形	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月19日	空間演出デザイン学科	空間演出デザインI	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月23日	彫刻学科	造形総合・彫刻I	「オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所」展	展示室1・2、アトリウム
4月23日	工芸工業デザイン学科	プロダクトデザイン演習I・II	陶磁器コレクション	授業スペース
4月24日	工芸工業デザイン学科	クラフトデザインVIII	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月26日	視覚伝達デザイン学科	視覚デザイン論I	「片山弘一—領域を越える造形の世界」展	展示室3
5月7日	建築学科	統計計画II-1	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月8日	通信教育課程	生活環境デザイン論	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月13日、17日、 20日、24日	空間演出デザイン学科	デザイン基礎	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月13日	彫刻学科	造形総合・彫刻I	「オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所」展	展示室1・2、アトリウム
5月18日、22日、 6月29日、 7月3日	視覚伝達デザイン学科	メディア演習	ポスターコレクション	図書館 南閲覧室
6月2日	空間演出デザイン学科	空間I(インテリアデザイン)G	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
6月4日	工芸工業デザイン学科	造形総合・彫刻I	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
6月17日	芸術文化学科	芸術文化演習II	「膠を旅する—表現をつなぐ文化の源流」展	展示室4・5
6月29日	身体運動文化	健康と身体運動文化45 (からだのメソッド)	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
7月8日、15日	美学美術史	日本美術各論VI-1	絵巻模本	図書館 南閲覧室
8月12日	通信教育課程	博物館実習	所蔵品より各メディア9点	図書館 南閲覧室
10月4日	映像学科	映像造形実習A	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※	展示室1・2、アトリウム
10月8日	芸術文化学科	キュレーター入門	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※ 「川口起美雄—I'll be your mirror」	展示室1～5、アトリウム
10月13日	基礎デザイン学科	デザイン演習II(グラフィック)	ポスターコレクション	図書館 南閲覧室
10月13日～16日	通信教育課程	博物館実習	所蔵品より各メディア14点	美術館 第10講義室
10月12日	工芸工業デザイン学科	基礎実習III 座る形	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
10月14日、 28日、11月11日	油絵学科 版画専攻	ART-BOOK展 貴重書解説	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※	展示室1・2、アトリウム
10月18日	工芸工業デザイン学科	クラフトデザインI, IV	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
10月20日	基礎デザイン学科	デザイン演習II(グラフィック)	ポスターコレクション	図書館 南閲覧室
10月21日	教養文化・学芸員課程	音楽研究II	中村とうようコレクション	美術館ホール
10月22日	油絵学科 油絵専攻	造形総合絵画 II	「川口起美雄—I'll be your mirror」	展示室3・4・5
10月28日	油絵学科 版画専攻	ART-BOOK展 貴重書解説	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※	展示室1・2、アトリウム
11月9日	日本画学科	ART-BOOK展 貴重書解説	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※	展示室1・2、アトリウム
11月11日	油絵学科 版画専攻	ART-BOOK展 貴重書解説	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※	展示室1・2、アトリウム
11月17日	基礎デザイン学科	デザイン演習IV(グラフィック)	ポスターコレクション	図書館 南閲覧室
11月30日	身体運動文化	健康と身体運動文化46・56 (からだのメソッド)	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
12月2日、9日、 16日、21日	芸術文化学科	ヴィジュアルコミュニケーションデザインA	「助教・助手展2021 武蔵野美術大学 助教・助手 研究発表」	展示室1・2・3、アトリウム
12月9日、16日	美学美術史	日本美術各論VI-2	絵巻模本、図書	図書館 閲覧スペース
12月20日	通信教育課程	博物館実習	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
12月21日	通信教育課程	博物館実習	所蔵品より各メディア13点	美術館 第10講義室
1月6日	工芸工業デザイン学科	インテリアデザインVII	近代椅子コレクション	貸出(16号館)

※展覧会名称は略称である

■ ミュゼオロジー実習…5件

月 日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
8月2日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	美術館・民俗資料室概要説明、外部講師講演など	ZOOM(館内全体)
8月3日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	プランニングI・II	ZOOM
8月4日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	教育普及・広報活動・外部講師講演	ZOOM
8月10日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	実習作業	美術館、図書館、9号館
8月11日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	実習作業	美術館、図書館、9号館

■ 民俗資料室…9件

月 日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
5月13日	油絵学科 油絵専攻	絵画基礎II	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
6月7日	芸術文化学科	造形民俗学I	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2F収蔵庫
6月9日	視覚伝達デザイン学科	構成演習「レシビ」(学部2年)	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
8月12日	通信教育課程	博物館実習	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
10月18日	芸術文化学科	キュレーター入門	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
11月8日	芸術文化学科	造形民俗学II	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2F収蔵庫
11月15日	芸術文化学科	造形民俗学II	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2F収蔵庫
11月30日	芸術文化学科	ヴィジュアルコミュニケーションデザインC	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2F収蔵庫
12月20日	通信教育課程	博物館実習	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫

■ 図書館…19件

月 日	学科・研究室	授業名等	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月21日、22日	映像学科	映像基礎実習(映像前史)	視覚装置一式	参考図書エリア
5月7日	視覚伝達デザイン学科	タイポグラフィ(学部1年)	日本の近現代のブックデザイン資料	研究・授業特別閲覧室、 カタログギャラリー
5月19日、24日、 26日、28日、6月 2日	視覚伝達デザイン学科	構成演習(学部2年、大学院)	デザインの歴史:印刷史、タイポグラフィ関連資料 (8世紀から現代まで)、しかけ絵本、視覚装置関連 資料	研究・授業特別閲覧室、 カタログギャラリー
6月24日	油絵学科 油絵専攻	絵画基礎V	国内外の作家によるアーティストブック計31点	研究・授業特別閲覧室
7月1日	デザイン情報学科	デザイン情報学演習III A「プリントメディア 研究」(学部3年)	デザインの歴史:印刷史、タイポグラフィ関連資料 (8世紀から現代まで)、しかけ絵本、視覚装置関連 資料	研究・授業特別閲覧室
7月6日	美学美術史	日本美術史研究	1912年、1918年刊行「東洋美術大観」全15巻	研究・授業特別閲覧室
9月8日	芸術文化学科	映像デザインI(Bクラス)	視覚装置一式	参考図書エリア
10月5日	芸術文化学科	キュレーター入門	装飾写本、博物画、おもちゃ絵、絵入り新聞、貴重 雑誌、アーティストブック 合計8点	参考図書エリア
10月6日	芸術文化学科	ムービングイメージ	視覚装置関連資料 計14種	参考図書エリア
10月12日	視覚伝達デザイン学科	ダイアグラムデザイン	杉浦康平を中心とする日本のダイアグラムデザイン 関連資料	参考図書エリア
10月15日	芸術文化学科	ミュゼオロジーと生涯学習	図書館概論と武蔵野美術大学の図書館について レクチャー	9号館515教室
10月19日	視覚伝達デザイン学科	ダイアグラムデザイン	オットー・ノイラートを中心とする西洋のダイアグラ ムデザイン関連資料	参考図書エリア
10月25日	視覚伝達デザイン学科	視覚表現演習E(学部2年)	ジョセフ・アルバース、カール・ゲルストナーの色彩に 関する作品	参考図書エリア
11月10日	芸術文化学科	映像デザインI(Aクラス)	視覚装置一式	参考図書エリア
11月10日	視覚伝達デザイン学科	視覚表現演習E(学部2年)	文字と図像の歴史と表現:20世紀モダンデザイン 関連資料、日本の文芸書(初版本、限定本)	参考図書エリア
11月18日	芸術文化学科	ヴィジュアルコミュニケーションデザインA (学部2年)	装飾写本2種、博物図譜2種、合巻(挿絵本)1種、 プライベートプレス1種、アーティストブック2種、 絵本1種、アート雑誌1種 [合計10種]	南閲覧室
11月29日	油絵学科 油絵専攻	絵画基礎IV(学部1年)	中村とうようコレクションより レコード資料(昭和 のポピュラー音楽5曲および関連曲2曲)、蓄音機 1台、データベース「地球が回る音」	研究・授業特別閲覧室
12月2日、3日	油絵学科版画専攻	絵画基礎IV、版画実習VI、版画研究II (学部1-4年、大学院1・2年)	「ART-BOOK: 絵画性と複製性」展※出展資料より 木版、銅版、石版、木口木版等による版画入りの 書籍25種	研究・授業特別閲覧室
12月9日、16日	美学美術史	日本美術各論IV-2(学部生)	赤本、黒本、黄表紙、合巻、錦絵および平安から室町 期の絵巻模本	研究・授業特別閲覧室

■美術館ホール利用・・・8件

月 日	学科・研究室	授業名等	担当教員・出演者等
5月7日	油絵学科	絵画実習Ⅶ	担当教員：小林孝亘 教授
6月21日	油絵学科	絵画実習Ⅷ	担当教員：丸山直文 教授
6月28日～30日	映像学科	デジタルドラマⅡ	担当教員：小口詩子 教授
7月8日	教養文化・学芸員課程	音楽学演習Ⅱコンサート「Sound Labo」 (ライブ配信)	山田岳(ギタリスト)、磯部英彬(エレクトロニクス) 担当教員：白石美雪 教授
10月8日、9日	映像学科	映像・写真表現実習Ⅰ	担当教員：篠原規行 教授
11月18日	空間演出デザイン学科	卒業制作	担当教員：津村耕佑 教授
11月22日	空間演出デザイン学科	実在実習Ⅱ／卒業制作	担当教員：津村耕佑 教授
2月15日	映像学科	映像・写真表現実習Ⅰ	担当教員：篠原規行 教授

■イメージライブラリー・・・0件(新型コロナウイルス感染症対応で研究用映像視聴室の利用を制限した)

収蔵資料閲覧実績 Collection Viewers

● 民俗資料室収蔵資料閲覧者数

Number of Viewers of the Folk Art Gallery Materials

2020年度

※(カッコ)内は前年比

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
月別計	件数	0	0	1	3	3	11	14	5	5	0	42
		(-13)	(-16)	(-25)	(-11)	(-47)	(-15)	(-1)	(-19)	(-22)	(-1)	(-170)
	人数	0	0	1	3	115	31	16	6	8	0	180
		(-47)	(-31)	(-107)	(-61)	(-59)	(-140)	(-54)	(-60)	(-132)	(-1)	(-692)

※集計期間：2020年4月1日(水)～2021年1月31日(日)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、他大学や外部一般の方の閲覧を制限した。

2021年度

※(カッコ)内は前年比

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
月別計	件数	19	21	18	11	2	0	20	30	51	0	172
		(+19)	(+21)	(+17)	(+8)	(-1)	(-11)	(+6)	(+25)	(+46)	(±0)	(+130)
	人数	22	41	66	12	77	0	55	78	76	0	427
		(+22)	(+41)	(+65)	(+9)	(-38)	(-31)	(+39)	(+72)	(+68)	(±0)	(+247)

※集計期間：2021年4月1日(木)～2022年1月31日(月)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、他大学や外部一般の方の閲覧を制限した。

3 收集

3 Collection

資料受入実績（購入・寄贈）

Materials Accepted (Purchased and Donated)

収蔵品目録 凡例

1. 収蔵品は以下のように分類した

■美術	絵画	日本画
		洋画
		版画
		素描
		彫刻
	写真	
	その他の美術作品	
■デザイン	グラフィックデザイン	ポスター
		その他のグラフィックデザイン
	プロダクトデザイン	椅子
		家具（椅子以外）
		玩具
		照明・生活用品・事務用品
		建築
■工芸	工芸	陶磁器
		美術工芸
	その他工芸	その他工芸
■民俗・民族資料		

2. 各資料の詳細は左記の分類に分け、以下のように表記した。不明部分につい

ては表記を避けた。

ただし、資料整理が未完の場合は、詳述を割愛し暫定的な記録に留めた。

寄贈品に関しては寄贈者（敬称略）を明記した。

登録番号については最初の6桁のみを記した。

■絵画、彫刻、写真、版画、その他の美術作品

・詳細は下記の順で表記した。

作品名
制作者
制作年
サイズ(縦×横cmまたは高さ×幅×奥行cm)
素材・技法等
登録番号

■グラフィックデザイン>ポスター

・詳細は下記の順で表記した。

発行者が特定出来たものは制作年の前に表記した。

作品名
デザイナー
発行者 制作年
サイズ(縦×横cm)
登録番号

■プロダクトデザイン>椅子

・詳細は下記の順で表記した。メーカーが特定出来たものは制作年の前に表記した。

製品名あるいは慣用呼称
デザイナー
メーカー 制作年
サイズ(高さ×幅×奥行cm)
素材・技法等
登録番号

■プロダクトデザイン>家具(椅子以外)、玩具、照明、生活用品、事務用品

・詳細は下記の順で表記した。メーカーが特定出来たものは制作年の前に表記した。

製品名
デザイナー(所属事務所)
メーカー 制作年
サイズ(高さ×幅×奥行cm)
素材・技法
登録番号

●新収蔵品：2020・2021年度分

New Acquisitions: 2020-2021

2020年度

■美術

絵画＞日本画

原爆の図「高張提灯」

丸木位里・丸木俊

1986年

189.0 x 384.0cm（四曲一隻）

岩絵具、墨、胡粉、コンテ、膠、和紙

寄贈 大阪人権博物館

2020-01

Veronica（聖顔衣）

山本直彰

2007年

201.0 x 176.0cm

岩絵具、箔、アートグルー、薄美濃紙

寄贈 山本直彰

2020-09

VIDEO MONITORと少女

山本直彰

1990年

116.8 x 85.6cm

岩絵具、箔、膠、麻紙

寄贈 山本直彰

2020-09

絵画＞洋画

横たわる裸婦（裸婦）

中間冊夫

38.0 x 45.0cm

油彩、麻布

寄贈 中津海智子

2020-03

坐せる裸婦（腰かける人）

中間冊夫

27.3 x 27.3cm

油彩、麻布

寄贈 中津海智子

2020-03

人権教育副読本『にんげん』表紙原画、

ほか挿絵 計28点

丸木俊

1970年代

コンテ、墨、水彩、紙

寄贈 大阪人権博物館

2020-01

人権教育副読本『にんげん』原画 計5点

梶尾俊夫

墨、紙

寄贈 大阪人権博物館

2020-02

絵画＞素描

背中

脇谷徹

1975年

54.7 x 39.6cm

ペン、墨汁、白コンテ

寄贈 脇谷徹

2020-05

フランスのモデル 7点

脇谷徹

2013-14年

41.5 x 29.5cm

ペン、墨汁、鉛筆

寄贈 脇谷徹

2020-05

彫刻

箱XI

脇谷徹

1988年

104.0 x 203.5 x 92.0cm

木、朱漆

寄贈 脇谷徹

2020-05

青木真理氏

脇谷徹

1994年

43.6 x 23.3 x 29.9cm

テラコッタ

寄贈 脇谷徹

2020-05

●デザイン

グラフィックデザイン＞ポスター

杉浦康平ポスター 22種計44枚

杉浦康平

寄贈 杉浦康平

2020-B0

株式会社レナウン 70年代ポスター

計24点

1970年代

シルクスクリーン

寄贈 久米正之

2020-C0

プロダクトデザイン＞椅子

How High the Moon

倉俣史郎

初号 1986年

69.5 x 95.5 x 82.5cm

復刻版

2020-04

ミスブランチ

倉俣史郎

1988年

87.5 x 62.0 x 60.0cm

アクリル、造花

アルミニウムパイプにアルマイト染色仕

上げ

復刻版 制作：株式会社イシマル

2020-10

プロダクトデザイン>生活用品

hanabi 計3点

小泉誠

2005年

4.5 x 9.5 x 9.5cm、6.8 x 13.6 x 13.6cm、
9.5 x 19.0 x 19.0cm

紙、漆

2020-06

ウォールクロック2081_3

倉俣史朗

1981年

28.0 x 28.0 x 8.0cm

アクリル、プラスチックプレート、他

2020-07

錆線模様惣菜箱

十時啓悦

2019年

9.0 x 32.0 x 26.0cm

カツラ材、指物

寄贈 十時啓悦

2020-08

錆肌漆絵重箱

十時啓悦

2019年

19.0 x 24.0 x 15.0cm

カツラ材、挽き抜き

寄贈 十時啓悦

2020-08

金箔紋酒器

十時啓悦

2012年

14.0 x 11.0 x 11.0cm

カツラ材、指物

寄贈 十時啓悦

2020-08

乾漆洗朱輪花鉢

十時啓悦

1990年

15.0 x 32.0 x 32.0cm

麻布・漆、乾漆

寄贈 十時啓悦

2020-08

洗朱布目鉢

十時啓悦

2016年

9.0 x 2.6 x 2.6cm

カツラ材、ロクロ挽き

寄贈 十時啓悦

2020-08

乾漆錆模様菓子鉢

十時啓悦

2018年

9.0 x 23.0 x 23.0cm

麻布、漆、乾漆

寄贈 十時啓悦

2020-08

根来湯桶

十時啓悦

2012年

28.0 x 15.0 x 11.0cm

ホオ材、ロクロ挽き

寄贈 十時啓悦

2020-08

根来大片口

十時啓悦

2012年

15.0 x 25.0 x 24.0cm

ホオ材、ロクロ挽き

寄贈 十時啓悦

2020-08

朱溜角干菓子皿

十時啓悦

2006年

5.0 x 25.0 x 24.0cm

カツラ材、合わせ造り

寄贈 十時啓悦

2020-08

■工芸

工芸>美術工芸

尖底悠器

十時啓悦

2019年

4.7 x 26.0 x 26.0cm

カツラ材、ロクロ挽き

寄贈 十時啓悦

2020-08

洗朱挽目椀 計2点

十時啓悦

1976年

8.0 x 13.0 x 13.0cm

クリ材、ロクロ挽き

寄贈 十時啓悦

2020-08

布目錆肌三段重箱

十時啓悦

2009年

22.0 x 22.0 x 22.0cm

カツラ材、指物

寄贈 十時啓悦

2020-08

■民俗・民族資料

桶(蕎麦作り道具)

75.5 x 57.0 x 57.0cm

金属、木

SZ010651

奉納手形、奉納足形

3.0 x 24.5 x 80.0cm

(このほかに複数サイズあり)

木

SZ010652~SZ010680

2021年度

■美術

絵画＞洋画

「牛舎」のための習作

麻田鷹司

1952年

24.0 x 33.0 cm

油彩、板

寄贈 麻田光子

2021-03

夢想

川口起美雄

2021-2022年

91.0 x 60.0cm

テンペラ、油彩、板

寄贈 川口起美雄

2021-06

青年像

川口起美雄

2019年

45.4 x 33.5cm

テンペラ、油彩、板

寄贈 川口起美雄

2021-06

彫刻

若桜

木内克

1943年頃

200.0 x 70.0 x 75.0cm

石膏

寄贈 大熊克彦

2021-08

ガラスのバラ

土屋公雄

2005年

11.0 x 14.0 x 14.0cm

ガラス

寄贈 土屋公雄

2021-09

写真

フォトモンタージュ作品

『John Heartfield 33 Fotomontagen』

(複製) 計33点

ジョン・ハートフィールド

VEB Verlag der Kunst

Dresden, Dresden.

1976年

寄贈 川村眞兄

2021-02

■デザイン

グラフィックデザイン＞ポスター

東京オリンピック2020ポスター 計20枚

2020年

103.0 x 76.0cm

寄贈 東京2020大会広報局

2021-B0

東京都知事選挙立候補者ポスター

秋山祐徳太子

ポスター 3点、葉書 1点

1975、1979年

寄贈 ギャラリー58

2021-C0

グラフィックデザイン＞その他のグラフィック資料

舞台デザイン資料 3種計35点

牧野良三

「炎の天使」1993年 15点

「ラ・ヴィ・パリジェンヌ」2005年 9点

「ドン・キホーテ」1997年 11点

寄贈 牧野良三

2021-10

プロダクトデザイン＞椅子

High Sticking high back Chair

Frank Owen Gehry

Knoll(USA)

1990年頃

110.0 x 52.0 x 55.0cm

メーブル材

寄贈 住商インターナショナル

2021-01

Queen Anne chair

Robert Venturi

Knoll(USA)

1984年

98.0 x 68.0 x 59.0cm

メラミン樹脂、プライウッド合板

寄贈 住商インターナショナル

2021-01

プロダクトデザイン＞照明・生活用品・事務用品

Braun Standard 25(シェーバー)

Braun

1965年(日本販売1972年)

9.5 x 12.2 x 12.5cm

プラスチック、他

寄贈 稲田真一

2021-04

4 保存/建築/施設

4 Storage / Building / Facilities

美術館石膏像の再配置

Relocation of the Plaster Statues in the Museum

2010年の美術館棟リニューアル工事に際して外部倉庫に預けられていた複製石膏像を2020年3月に図書館棟内へ設置した。その経緯について記したい。

当館は美術館・博物館の機能を併せ持つ図書館「美術資料図書館」として1967年に開館した。開館記念展となる「日本＝ドイツ＝スイス学生合同作品展」の会場風景写真には《サモトラケのニケ》をはじめ数体の石膏像が設置されているのが確認できる<fig.1>。その後も館内には石膏像が常設展示され、実際に学生がデッサンする姿も見られるなど授業等でも大いに活用されていたものと思われる<fig.2>。1977年の増築工事を経て、2010年のリニューアル工事の際に外部倉庫に預けられるまで石膏像は彫刻陳列室（現在のアトリウム1）など館内に展示されていた<fig.3>^{※1}。だが2011年のリニューアル開館にあたっては展示空間上の制約もあって外部倉庫に預けられたままとなり、その後美術館に戻ることはなかった。

約10年を経た2019年、所蔵作品の授業利用の観点から石膏像の再配置が計画された。美術館内への再配置はやはり展示空間との兼ね合いから諦めざるをえなかったため、主に2010年に竣工した図書館内への設置を行うこととなった。^{※2}



fig.1



fig.2

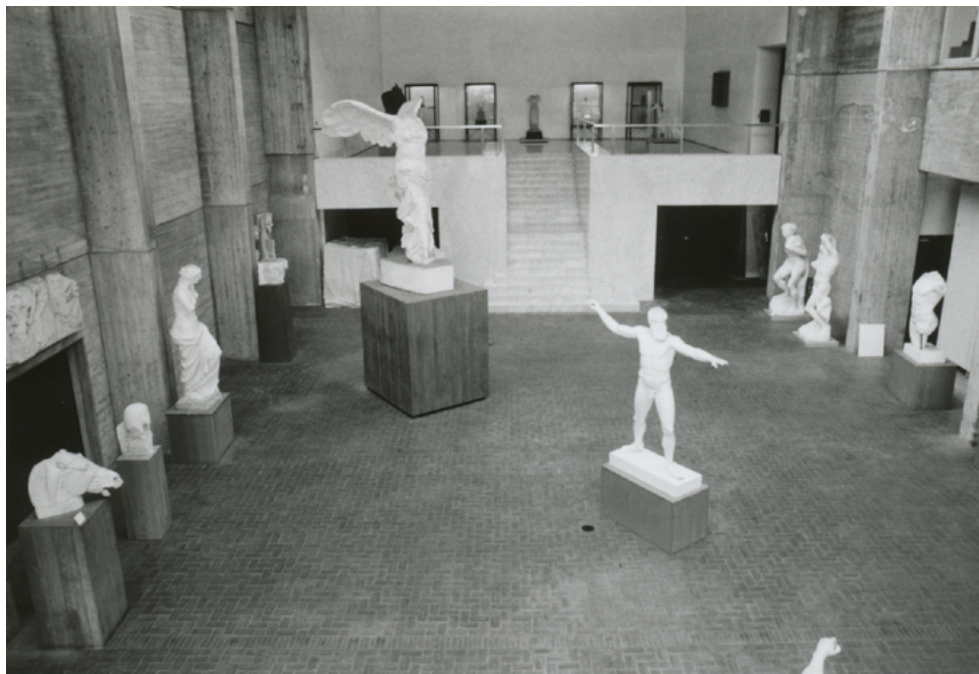


fig.3

※1 開催展覧会の内容によっては館内での配置替えも行われていた

※2 一部は移動可能な仕様で台座を新規制作した

2022年3月現在、図書館内に設置された石膏像は下記となっている。

図書館1階〈fig.4〉

《アルテミシオンのゼウス》
《デロスのライオン》
他3点（レリーフ2点含む）



fig.4

図書館2階

《ソロモン王》
《シバの女王》
《セレネーの馬》
他8点（レリーフ2点含む）



fig.5

図書館テラス〈fig.5〉

《抵抗する奴隷》
《瀕死の奴隷》
《ミロのヴィーナス》
他4点



fig.6

イメージライブラリー前〈fig.6〉

《サモトラケのニケ》

石膏像再配置の翌年度の2020年度から本学芸術文化学科ミュージオロジー実習内のカリキュラムにおいて、石膏像のコンディションチェック及び清掃が行われている〈fig.7〉。コンディションチェックでは、学生が実際の作品を使って経年の変化を調査・蓄積することが可能となるなど、当初は想定していなかった利活用が行われている。

開館当時のように石膏像をデッサンする学生の姿を見ることはほぼなくなっているが、今後も授業や研究活動において新たな利活用の道を探っていきたい。



fig.7

美術館・図書館設備に関する報告

Facilities of the Museum and Library

美術館アトリウム1天井照明交換

2011年の美術館リニューアルに合わせて設置した天井照明は、経年劣化により不点灯箇所が増加していた。同機種は灯体と電球が一体式で電球のみの交換が出来ず、また該当製品は生産が終了していたことから、2021年度に照明機器全台の交換を行うこととなった。

大きく変更となった点は、従来の照明がスポットライトのみの構成であったのに対し、スポットライトとベースライトの構成で光量を確保している点である。またスポットライトは、iOS端末を用いてリモートで、照射方向・配光角度・明るさ・色温度等の調整が可能となった。

導入機種

スポットライト



機種：Panasonic MS-V2A92MB-BB

◆LED ◆色温度：2700K-5000K

◆質量：3.3 kg ◆消費電力：57 W(モータ駆動時70W)

◆器具光束：1438 lm~2416 lm

◆照射方向範囲：水平方向 | 約360度(±180度)、垂直方向 | 90度(水平から下向き)

◆光源寿命：60000時間(光束維持率70%) ◆配線ダクト取付型

ベースライト



機種：Panasonic NDNN57513K LZ9

◆LED ◆色温度：3000 K

◆質量：5.5 kg ◆消費電力：42.4 W

◆器具光束：5160 lm

◆光源寿命：60000時間(光束維持率80%) ◆天井直付型、広角タイプ

※本体は黒色に加工

5 組織

5 Organization

事務組織の変更

Organization Changes

美術館・図書館グループの組織再編について

美術館・図書館は、2020年6月より、1グループ1チーム3担当制に組織再編を行った。今回はその経緯について説明したい。

2015年4月の学務事務組織の改編及びグループ・チーム制の導入により、美術館・図書館は美術館・図書館グループとなり、その中に美術チームと図書チームの2チームが設置された。グループ・チーム制は、事務組織の機動化・効率化を目的とし、グループ内あるいはグループ間における組織横断的な業務遂行と人員配置を可能とするものであった。しかしながら、美術館・図書館グループにおいては、学芸業務や司書業務といった業務の固有性もあってか、日常業務を遂行する上で横断的な協力体制がとられることはほとんどなく、グループ・チーム制導入の効果が発揮できていないと言え難い状況が続いていた。

その後、働き方改革関連法が順次施行されるに伴い、長時間労働の解消や同一労働同一賃金への対応など、美術館・図書館グループとしてまさに直面していた諸課題への対応が避けられない事態に至り、2020年6月にグループを再編することとした。具体的には、2チームを美術・図書チームの1チームとし、美術担当、図書担当、運営管理担当を置いた。運営管理担当の業務は、美術館や図書館固有の専門的業務を除いた、双方の運営に共通する業務とし、原則として専任職員が担うこととした一方で、美術担当、図書担当の、いわゆる専門性を必要とする業務については、主として資格を保有する非正規雇用者（嘱託、業務委託等）に中心となって担ってもらおうという方針を立てた。また専任職員は、美術担当・図書担当のどちらか、またはその両方の業務も担うこととして、専任職員として不可欠なグループ全体を俯瞰した業務遂行が可能となる組織構築を目指すとともに、専門性に依拠しない業務を主たる業務とすることで、人事交流の活性化も企図した再編であった。もちろん、専門性を持ち学芸業務や司書業務に携わる専任職員についても、目の前の業務に埋没せず、グループを俯瞰した働き方が必要であることは言を俟たない。

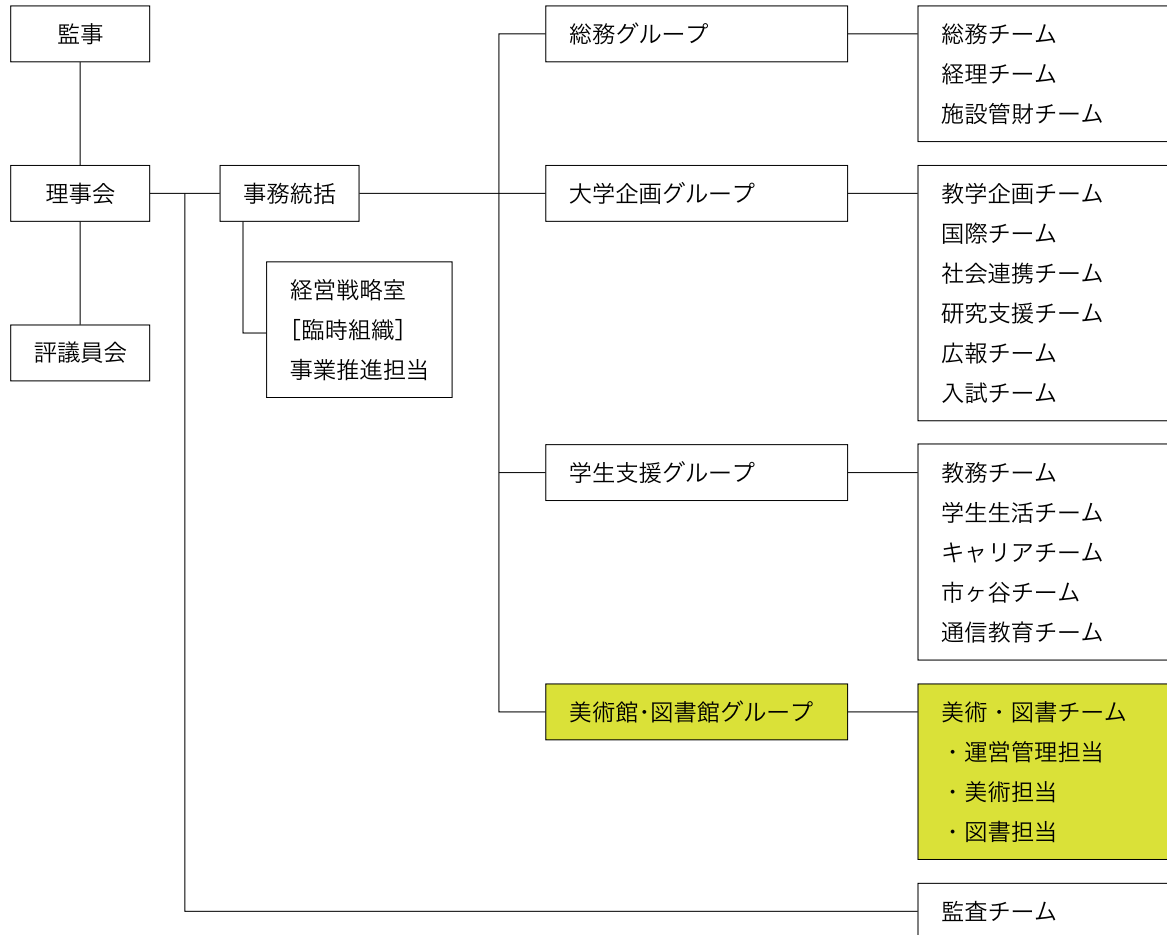
さて、その再編から1年半ほどが経過した現在の状況であるが、残念ながら当初目論んだ通りの成果は十分に出来ておらず、先述の課題も依然として横たわったままである。グループ長の力量のなさによるものであり、責任を痛感するところである。美術館・図書館の学務事務組織における位置づけの適切性については今後も検証を続けなければならないと考えるが、1チーム体制を続けるにあたり、課題の解決には、つまるところ構成員の意識改革が不可欠であるという自明のことを改めて認識した。奇しくも新型コロナウイルスの影響により、社会全体でこれまでの働き方が大きく見直されているタイミングでもあり、いま一度趣旨の共有を図り、再編の成果につなげたい。

美術館・図書館グループ長 浅見和之

本学学務事務組織図と美術館・図書館グループの業務分掌

Administrative Organization Chart and the Museum and Library Section's Work Contents

武蔵野美術大学 事務組織図



美術館・図書館グループ 業務分掌

(所属チーム：美術・図書チーム [運営管理担当・美術担当・図書担当])

任務（役割）	業務分掌
より有効な研究教育活動が行われるための 情報・資料の提供	(1) 教育研究に有効な美術資料の収集・保存・公開・活用 (2) 教育研究に効果的な民俗資料の整備・保存・公開・活用 (3) 教育研究に不可欠な図書資料の収集・保存・提供・活用 (4) 教育研究に効果的な映像資料の収集・保存・提供・活用 (5) 造形研究センターに係る業務

美術館・図書館運営委員会

The Museum & Library Management Committee Meetings

2020年度

● 臨時美術館・図書館運営委員会 2020年6月25日(木)開催

【議題】

1. 新型コロナウイルス対応における2020年度展覧会実施内容の変更について
2. 2020年度学事変更にともなう2021年度開催の優秀作品展について

【報告事項】

1. 新型コロナウイルス対応における2020年度図書館の開館について
2. その他報告

● 第1回美術館・図書館運営委員会 2020年9月28日(月)開催

【議題】

1. 2020年度学事変更にともなう2021年度開催の優秀作品展について
2. 2021年度展覧会スケジュールについて
3. その他

【報告事項】

1. 2020年度下半期図書館の開館について
2. 2020年度下半期展覧会の一般公開及びイベント対応について
3. 2020年度上半期(4月～8月)の諸活動報告
 - ① 展覧会活動報告
 - ② イベント報告及び美術館ホール利用実績
 - ③ 教育普及活動報告
 - ④ 授業対応実績
4. 2020年度上半期(4月～8月)の利用実績報告
 - ① 民俗資料室収蔵資料閲覧者数
 - ② 図書館入館者数及び貸出冊数
 - ③ イメージライブラリー利用状況
 - ④ 館蔵諸資料学外貸出実績及び貸出予定
5. 2020年度上半期(4月～8月)の資料受入実績報告
 - ① 受入美術資料

● 臨時美術館・図書館運営委員会 2020年11月26日(木)開催

【議題】

1. 2021年度開催の優秀作品展に代わる新たな企画への変更について
2. その他

● 第2回美術館・図書館運営委員会 2021年2月22日(月)開催

【議題】

1. 2021年度展覧会スケジュールおよび一部変更について
2. 2021年度図書館開館予定(前期)について
3. 美術館・図書館資料収集委員の選任について

【報告事項】

1. 2020年度諸活動報告
 - ① 展覧会活動報告

- ②イベント報告及び美術館ホール利用実績
- ③教育普及活動報告
- ④図書館活用ガイダンス報告
- ⑤授業対応実績
- 2. 2020年度利用実績報告
 - ①民俗資料室収蔵資料閲覧者数
 - ②図書館入館者数及び貸出冊数
 - ③TAC利用実績
 - ④図書館施設利用状況及びレファレンス回答実績
 - ⑤図書館見学者数
 - ⑥イメージライブラリー利用状況
 - ⑦館蔵諸資料学外貸出実績及び貸出予定
- 3. 2020年度広報活動 及び SNS 実績報告
 - ①広報記事掲載報告
 - ②美術館・図書館ウェブサイト分析・Twitter実績
- 4. 2020年度資料受入実績報告
 - ①美術資料
 - ②民俗資料
 - ③図書資料
 - ④映像資料
- 5. その他
 - ①2021年度「優秀作品展」について、前回の臨時運営委員会での質問についての回答
 - ②図書館からの連絡

2021年度

● 第1回美術館・図書館運営委員会 2021年9月27日(月)開催

【議題】

- 1. 2022年度開催予定展覧会の開館日時について
- 2. 2022年度展覧会スケジュールについて
- 3. 令和3年度卒業・修了制作優秀作品展について
- 4. 2021年度図書館開館予定(後期)について
- 5. 武蔵野美術大学美術館・図書館図書資料管理要領の制定、並びに武蔵野美術大学美術館・図書館利用細則及び武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス図書館利用細則の一部改正について

【報告事項】

- 1. 2021年度上半期(4月～8月)諸活動報告
 - ①展覧会活動報告
 - ②イベント報告及び美術館ホール利用実績
 - ③教育普及活動報告
 - ④図書館活用ガイダンス実績
 - ⑤授業対応実績
- 2. 2021年度上半期(4月～8月)利用実績報告
 - ①民俗資料室収蔵資料閲覧者数
 - ②図書館入館者数及び貸出冊数

- ③イメージライブラリー利用状況
- ④館蔵諸資料学外貸出実績及び貸出予定
- ⑤画像提供実績及び提供予定
- 3. 2021年度上半期(4月～8月)資料受入実績報告
 - ①美術資料
 - ②図書資料
 - ③映像資料
- 4. その他
 - ①コロナ状況下における活動について
 - ②杉浦康平アーカイブ「デザイン・コスモス」公開について
 - ③図書館・イメージライブラリーの利用時のお願い

●臨時美術館・図書館運営委員会 2021年11月29日(月)開催

【議題】

- 1. 令和3年度卒業・修了制作優秀作品展について
- 2. 2022年度美術館休館日について
- 3. 収集・評価委員会の設置について 及び 武蔵野美術大学美術館・図書館規則一部改正について
- 4. 武蔵野美術大学美術館・図書館図書資料管理要領の制定、並びに 武蔵野美術大学美術館・図書館図書利用細則及び武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス図書館利用細則の一部改正について

【報告事項】

- 1. 12月からの図書館開館時間について

●第2回美術館・図書館運営委員会 2022年3月4日(金)開催

【議題】

- 1. 2022年度展覧会スケジュールの変更について
- 2. 2022年度図書館開館予定(前期)について
- 3. 収集・評価委員会の設置 及び 武蔵野美術大学美術館・図書館規則一部改正について
- 4. 2023年度退任展開催予定者について

【報告事項】

- 1. 2021年度諸活動報告
 - ①展覧会活動報告
 - ②イベント報告及び美術館ホール利用実績
 - ③教育普及活動報告
 - ④図書館活用ガイダンス報告
 - ⑤授業対応実績
- 2. 2021年度利用実績報告
 - ①民俗資料室収蔵資料閲覧者数
 - ②図書館入館者数及び貸出冊数
 - ③TAC利用実績
 - ④図書館施設利用状況及びレファレンス回答実績
 - ⑤図書館見学者数
 - ⑥イメージライブラリー利用状況
 - ⑦館蔵諸資料学外貸出実績及び貸出予定
 - ⑧画像提供実績及び提供予定

3. 2021年度広報活動及びSNS実績報告

①広報記事掲載報告

②美術館・図書館ウェブサイト分析・Twitter実績

4. 2021年度資料受入実績報告

①美術資料

②図書資料

③映像資料

5. その他

①美術館・図書館設備に関する実績報告

②美術館・図書館コロナ感染症対策の実績報告

6 その他

6 Others

新型コロナウイルス感染症対応

Our Response to COVID-19

2020年より世界規模で流行している新型コロナウイルス感染症の対策として、政府が発出する緊急事態宣言並びにまん延防止等重点措置に伴い、本学が定める行動指針に準じて学生の安全を最優先とし、以下の通り感染防止対策を実施した。

● 展覧会

Exhibitions

【美術館・民俗資料室】

1. 2020年度

①会期の変更及び開館時間の短縮

・4月1日(水)～5月31日(日)

4月7日に東京都が発出された緊急事態宣言(2021年5月25日解除)に伴い本学も学内入構禁止となり、美術館も大学の方針に準じて休館とした。展覧会は当初9展(優秀作品展1、退任展3、企画展3、所蔵品展1、助教・助手展1)の開催を予定していたが、そのうちの3展を2021年度に延期(収蔵品展は最終的に中止となった)、退任展を優先して開催し、助教・助手展は中止するなど大幅な会期の変更を行った。

・6月1日(月)～8月31日(月) [優秀作品展]

6月1日(月)から段階的に在学生の入構禁止を解除する大学の方針に合わせ、6月15日(月)から7月3日(金)に学内関係者限定(学年指定)で開催。開館時間を短縮(12:30-18:00)し、半日限定で開催した。なお、3密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避けるため、図録の販売はネット販売に限定し、8月末まで美術館での物販を中止した。

一般来場者に対しては、日曜日に限定し開館時間を短縮(11:00-17:00)して開催した。

8月は学内(通学・通信スクーリング)及びオープンキャンパス来場者に限定して開催した。

・9月1日(火)～12月19日(土)

開館曜日及び時間を通常の運用に戻し、6展(退任展3、所蔵品展1、小型展2)を開催。また、十分な感染対策を講じて美術館での物販を再開した。

②入館者数及び滞在時間制限

3密対策として、美術館への同時入館は100名を上限とし、さらに各展示室、展示コーナーにおいて10㎡あたり1名以下になるよう来場制限を設けた。この基準はCIMAM(International Committee for Museum and Collection of Modern Art)国際基準よりも厳格な対応とした。また、滞留時間は1時間以内を原則とした。

③入館者管理

学内関係者は身分証認証により、入館者情報と入館時間を管理。一般来場者は入館受付票への記入を求め入館管理を徹底した。書式はwebサイトで公開し、事前記入により受付の混雑を軽減させた。

④その他対策

- ・来場者にマスク着用を義務付け、全員に検温を実施。また、検温はサーモグラフィーカメラを導入し体温37.5℃以上(高体温)の来場者を識別。高体温の来場者は赤外線体温計で再度計測し、体温に変化がなければ入場を認めない措置を取った。
- ・消毒液を入口、トイレ前、各展示室入口に設置。
- ・密にならないよう使用可能なロッカーを間引きするなどの制限を設けた。
- ・開館前の消毒及び、開館中も監視員による定期的な消毒作業を実施した。

⑤2020年度 展覧会一覧

	展覧会名称	当初の会期及び開館時間	変更後の会期及び開館時間
美術館	令和元年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展	4月6日～4月29日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 ※開館曜日及び時間は以降共通	①学内限定 6月15日～7月3日 ※月～金曜日限定 12:30-18:00 ②一般公開 7月5日、12日、19日、26日 ※日曜日限定 11:00-17:00 ③学内関係者限定(学年指定解除)7月24日 12:30-18:00 ④一般来場者限定(通学+スクーリング+入試イベント来場者) 7月30日、8月1日、2日、6日、8日、9日、13日 12:30-18:00
	オムニスカルプチャーズ ——彫刻となる場所	5月23日～8月16日	【翌年延期】2021年4月5日～6月20日
	Door is Ajar ドアは開いているか 山本直彰展	5月23日～6月27日	11月16日～12月19日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 休館日:日曜日
	収蔵品展——1960-1970年代の グラフィックデザイン	7月13日～8月16日	【中止】
	脇谷徹——素描ということ	9月7日～10月3日	9月21日～10月24日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 休館日:日曜日
	イラストレーションがあれば、	9月7日～11月14日	9月21日～10月24日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 休館日:日曜日
	十時啓悦——樹木と漆と暮らし	10月19日～11月14日	11月16日～12月19日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 休館日:日曜日
	片山利弘——領域を越える造形の世界	10月19日～12月19日	【翌年延期】2021年4月5日～6月20日
	助教・助手展2020 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表	11月26日～12月19日	【中止】
	所蔵品展——ふたしかなデザイン	—	11月16日～12月19日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 休館日:日曜日
民俗資料室	部屋と庭 隔たりの形式	—	11月30日～12月19日 月～金曜日 10:00-18:00 土曜日・特別開館日 10:00-17:00 休館日:日曜日
	民俗資料室ギャラリー展28 「紙・木・藁にみる祈りの造形」	10月26日～12月19日	会期変更なし 月～土曜日 10:00-17:00 休室日:日曜日

2. 2021年度

①会期の変更及び開館時間の短縮

・4月1日(木)～6月4日(金)

コロナの感染状況が悪化していたため、入学式で学生が集まる4月5日は学内関係者限定で開催、4月6日(火)から24日(土)までは通常の運用に戻して開館した。緊急事態宣言が4月25日(6月20日宣言解除)に発出されたことから、6月4日までの期間は入館対象を学内関係者に限定し、開館時間も短縮(平日：12:00-18:00、土曜日・特別開館日：12:00-17:00)して開催した。

・6月5日(土)～8月8日(日)

学外から一般公開の要請が多数寄せられたことから、学内限定開館日(平日：月、水、木、金曜日)と学外限定開館日(土、日曜日、特別開館日)に分けて開催した。学外限定開館日は、入館時間及び人数に制限を設け(1枠2時間120名)、事前予約制・入れ替え制で実施した。

緊急事態宣言が7月12日(月)(9月20日宣言解除)から発出されたことから、同日からの優秀作品展は、再び学内関係者と一般来場者の開催日を分けて開催した。

・9月6日(月)～10月3日(日)

コロナ感染症のデルタ株が急拡大した影響により、大学の入構禁止措置に合わせて美術館も休館とした。

・10月4日(月)～12月21日(火)

9月30日(木)に緊急事態宣言が解除され、大学の入構禁止措置も解除されたことから、学内限定開館日(平日：月、火、木、金曜日)と学外限定開館日(土、日曜日、特別開館日)に分けて展覧会を開催した。

学外限定開館日は、入館時間及び人数に制限を設け(美術館：1枠2時間200名、民俗ギャラリー展：1枠1時間30分25名)、事前予約制・入れ替え制で実施した。

11月29日(月)以降は大学の行動指針がレベル1に引き下げられたため、通常運用に戻して開館した。

②入館者数及び滞留時間制限

・3密対策として、美術館への同時入館は200名を上限とし、さらに各展示室、展示コーナーにおいて10㎡あたり1名以下になるよう来場制限を設けた。この基準はCIMAM(International Committee for Museum and Collection of Modern Art)国際基準よりも厳格な対応とした。滞留時間は原則1時間以内としたが、事前予約制としてからは設定時間内に変更した。

・学外の来館においては予約システムを導入し、コロナの状況を見ながら人数制限を行った。また、入れ替え制による運用を実施し、定期的な館内の消毒時間を設けた。

③入館者管理

学内関係者は身分証認証により、入館者情報と入館時間を管理。一般来場者は予約システムによる入館管理の徹底を行った。

④その他対策

・来場者にマスク着用を義務付け、全員に検温を実施。また、検温はサーモグラフィーカメラを導入し体温37.5℃以上(高体温)の来場者を識別。高体温の来場者は赤外線体温計で再度計測し、体温に変化がなければ入場を認めない措置を取った。

・消毒液を入口、トイレ前、各展示室入口に設置。

・密にならないよう使用可能なロッカーを間引きするなどの制限を設けた。

・開館前の消毒及び、開館中も監視員による定期的な消毒作業を実施した。

⑤2021年度 展覧会一覧

	展覧会名称	当初の会期及び開館時間	変更後の会期及び開館時間
美術館	オムニスカプチャーズ ——彫刻となる場所	4月5日～6月20日 月～金曜日 10:00～18:00 土曜日・特別開館日 10:00～17:00 ※開館曜日及び時間は以降共通	会期変更なし ①4月5日～24日 制限なし 平日:10:00～18:00 土曜日:10:00～17:00 ※4月5日は学内関係者限定 ②4月26日～6月4日学内関係者限定 平日:12:00～18:00 土、祝日:12:00～17:00
	片山利弘 ——領域を越える造形の世界	4月5日～6月20日	③6月5日～6月20日 ・学内関係者限定:月・水・木・金曜日 12:00～18:00 ・一般来場者限定:土・日 完全事前予約・入れ替え制 枠1:10:00～12:00 枠2:12:30～14:30 枠3:15:00～17:00 定員 1枠120名 休館日:火曜日
	膠を旅する ——表現をつなぐ文化の源流	5月10日～6月20日	5月12日～6月20日 ①5月12日～6月4日学内関係者限定 平日:12:00～18:00 土曜日:12:00～17:00 ②6月5日～6月20日 ・学内関係者限定:月・水・木・金曜日 12:00～18:00 ・一般来場者限定:土・日 完全事前予約・入れ替え制 枠1:10:00～12:00 枠2:12:30～14:30 枠3:15:00～17:00 定員 1枠120名 休館日:火曜日
	令和2年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展	7月12日～8月7日	7月12日～8月8日 ①学内関係者限定 7月12日～17日、27日～31日、8月3日～7日 10:00～18:00 ※土曜日は17:00終了 ②一般来場者限定 7月20日～25日、8月1日、8日 完全事前予約・入れ替え制 枠1:10:00～13:00 枠2:14:00～17:00 定員 1枠180名 休館日:7月18日、19日、26日、8月2日
	川口起美雄——I'll be your mirror	9月6日～10月2日	10月4日～10月31日 ①学内関係者限定:月、火、木、金曜日 10:00～18:00 ②一般来場者限定:土、日曜日、特別開館日 完全事前予約・入れ替え制 枠1:10:00～13:00 枠2:14:00～17:00 定員 1枠200名 休館日:水曜日
	ART-BOOK: 絵画性と複製性 ——MAU M&L貴重書コレクション×Lubokの 試み	9月6日～11月13日	10月4日～11月14日 ①学内関係者限定:月、火、木、金曜日 10:00～18:00 ②一般来場者限定:土、日曜日、特別開館日 完全予約・入れ替え制 枠1:10:00～13:00 枠2:14:00～17:00 定員 1枠200名 休館日:11月3日を除く水曜日
	牧野良三——舞台美術における伝達と表現	10月18日～11月13日	11月29日～12月21日 平日:10:00～18:00 土・日曜日、特別開館日:10:00～17:00 休館日:水曜日
	コドモはいつもソトで遊んでいる ——前衛というネバーランド	10月18日～12月18日	【翌年度以降に延期】
	助教・助手展2021 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表	11月29日～12月18日	11月29日～12月21日 平日:10:00～18:00 土・日曜日、特別開館日:10:00～17:00 休館日:水曜日

	展覧会名称	当初の会期及び開館時間	変更後の会期及び開館時間
民俗資料室	民俗資料室ギャラリー展29 「運ぶ—文化と私たち」	11月25日～12月18日	会期変更なし ①月、火、木、金曜日 10:00～17:00 ②土、特別開館日 完全事前予約・入れ替え制 枠1:10:00～11:30 枠2:11:45～13:15 枠3:13:45～15:15 枠4:15:30～17:00 定員 1枠25名 ③11月29日以降 制限なし 休室日:11月3日を除く水曜日、日曜日

●図書館・イメージライブラリーの利用

Use of the Library and Image Library

1. 2020年度

①開館時間の短縮

- ・4月～5月末

4月7日(火)に発出された緊急事態宣言により学内入構禁止となったことに合わせ、大学の方針に準じて休館とした。

- ・[第1段階解除：6月1日(月)～6月13日(土)] 4年生と院生のみ必要があれば入構可

鷹の台 9:00～17:00

大学が入構を認めた利用者に限り来館での貸出・返却を受け付けた。

市ヶ谷 11:00～18:00 ※土曜日休館

大学が入構を認めた利用者に限り来館での貸出・返却を受け付けた。

イメージライブラリー 9:30～17:30 ※土曜は9:30～17:00

- ・[第2段階解除：6月15日(月)～7月11日(土)] 全学生入構許可

鷹の台 9:00～17:30 ※土曜は9:00～17:00

市ヶ谷 11:00～18:00 ※土曜日休館

イメージライブラリー 9:30～17:00 ※土曜は9:30～17:00

- ・[第3段階解除：7月13日(月)～7月25日(土)] 実技・演習科目について対面授業開始

鷹の台 9:00～17:30 ※土曜は9:00～17:00

市ヶ谷 10:00～20:00 ※土曜日休館

イメージライブラリー 9:30～17:00 ※土曜は9:30～17:00

- ・7月27日(月)～8月22日(土)

鷹の台 10:00～18:00

市ヶ谷 10:00～20:00 ※土曜日休館

イメージライブラリー 10:00～17:00

- ・8月24日(月)～

鷹の台 10:00～18:00

市ヶ谷 8月24日(月)～9月2日(水)：10:00～18:00 ※土曜日休館

9月3日(木)～：10:00～20:00 ※土曜日休館

イメージライブラリー 10:00～17:00

②郵送貸出

- ・図書館 5月12日(火)～6月11日(木)まで郵送による貸出を実施、349件の申し込みがあり881冊の貸出を行った。
- ・イメージライブラリー 5月12日(火)～6月13日(土)まで郵送による貸出を実施、139件の申し込みがあり622点の貸出を行った。

③入館者管理

- ・滞留時間は1時間以内を原則とした。卒業生を含む学外者の利用を停止した。入館時・退館時にゲート付近設置の消毒液で手指の消毒を指示。

④TACの利用

- ・直接訪問しての相互利用は中止したが、TAC便を利用した貸出希望図書取り寄せサービスは継続して行った。

⑤その他対策

- ・学外者の来館中止(図書館見学、他大学からの訪問利用、卒業生の利用など)。
- ・消毒液を入館ゲート、トイレ、検索端末、コピー機横に設置した。
- ・密を避けるため閲覧席や端末、ロッカーを間引きするなどの制限を設けた。
- ・図書館のグループ学習室、個室および、イメージライブラリーの2人用ブース、グループ視聴室については閉鎖空間のため利用を中止。研究・授業特別閲覧室については十分な感染対策が取れる場合に限り授業利用に供した。イメージライブラリーの貸出できない資料に限り館内視聴の受付を行った。
- ・館内閲覧された図書・雑誌は一カ所に集め、消毒の後配架した。
- ・14:00-14:30は一時閉館し、館内の一斉消毒を行った。
- ・イメージライブラリーの研究用映像視聴室は、12月から定員を1/3にあたる5人までに制限して利用を再開した。

⑥オリエンテーション・活用ガイダンス

- ・対面で実施することができないため、動画を制作しWebで公開した。
5月9日(土) 美術館・図書館の4施設を紹介する動画を公開
5月19日(火) 「OPACを使った資料の探し方」の動画を公開

2. 2021年度

①開館時間の短縮

・4月～8月

鷹の台 10:00-18:00

市ヶ谷 10:00-20:00

イメージライブラリー 10:00-17:00

・9月

新型コロナウイルスデルタ株の急拡大による大学の入構禁止措置に合わせ、9月6日(月)から10月2日(土)まで鷹の台キャンパス図書館、市ヶ谷キャンパス図書館及びイメージライブラリーを臨時休館とした。

・10～11月

9月30日(木)に緊急事態宣言が解除され、大学の入構禁止措置も解除されたことから、10月4日(月)より開館を再開した。

鷹の台 10:00-18:00

市ヶ谷 10:00-20:00

イメージライブラリー 10:00-17:00

・12月以降

鷹の台 10:00-20:00 ※土曜日10:00-18:00

市ヶ谷 10:00-20:00

イメージライブラリー 10:00-20:00 ※土曜日10:00-17:00

②郵送貸出

- ・図書館 入構禁止期間の9月6日(月)～10月2日(土)まで郵送による貸出を実施、146件の申し込みがあり603冊の貸出を行った。
- ・イメージライブラリー 入構禁止期間の9月6日(月)～9月27日(月)まで郵送による貸出を実施、44件の申し込みがあり127点の貸出を行った。

③入館者管理

- ・滞留時間は1時間以内を原則とした。卒業生を含む学外者の利用を停止した。入館時・退館時にゲート付近設置の消毒液で手指の消毒を指示。
- ・9月の臨時休館期間、卒業年次生と博士後期課程の学生については特別に図書館の利用を認め、延べ71名の利用があった。

④TACの利用

- ・直接訪問しての相互利用は引き続き中止。TAC便を利用しての貸出希望図書取り寄せサービスは継続して行った。

⑤その他対策

- ・学外者の来館中止(図書館見学、他大学からの訪問利用、卒業生の利用など)。
- ・消毒液を入館ゲート、トイレ、検索端末、コピー機横に設置した。
- ・密を避けるため閲覧席や端末、ロッカーを間引きするなどの制限を設けた。
- ・図書館のグループ学習室、個室および、イメージライブラリーの2人用ブース、グループ視聴室については閉鎖空間のため利用を中止。研究・授業特別閲覧室については十分な感染対策が取れる場合に限り授業利用に供した。イメージライブラリーの研究用映像視聴室は、定員を1/3にあたる5人までに制限して運用した。10月23日(土)より席と席の間隔に留意して16席を、12月1日(水)より院生個室3室を解放した。
- ・館内閲覧された図書は一カ所に集め、消毒の後配架した。
- ・14:00-14:30は一時閉館し、館内の一斉消毒を行った。

⑥オリエンテーション・活用ガイダンス

- ・対面で実施することができないため、動画を制作しWebで公開した。

4月2日(金) 美術館・図書館の4施設を紹介する動画を公開

5月18日(火) 図書館活用ガイダンス「レポートの書き方」の動画を公開

5月25日(火) 図書館活用ガイダンス「資料の探し方」の動画を公開

団体見学等 Facility Tours

美術館は地域に開放された文化施設として、中学・高校や福祉施設等からの団体見学を受け入れており、団体の希望に応じて展覧会解説等を行っている。なお、図書館は原則として一般の方の見学は受け付けていない。

2020年度

■美術館…3件

日時	団体名	対象／人数	目的	所管／代表者	内容／備考
10月2日 10:00-11:00	国分寺市立第五中学校	24名	展覧会鑑賞	美術・図書チーム 美術担当	校外学習
10月15日 14:00-14:45	私立和光高校	24名	展覧会鑑賞	広報チーム	大学見学
10月23日 13:30-14:45	千葉県立松戸高校	40名	展覧会鑑賞	広報チーム	大学見学

2021年度

■美術館…1件

日時	団体名	対象／人数	目的	所管／代表者	内容／備考
10月22日 11:00-12:00	埼玉県立越生高校	39名	展覧会鑑賞	広報チーム	大学見学

■図書館…4件

日時	団体名	対象／人数	目的	所管／代表者	内容／備考
11月17日 16:00-17:00	名城大学理工学部建築学科、 理工学研究科建築学専攻	11名	図書館見学	美術・図書チーム 図書担当	建物視察
12月 9日 16:00-17:00	東京都立大学都市環境学部建築学科	9名	図書館見学	美術・図書チーム 図書担当	建物視察
12月22日 10:00-19:00	東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻	7名	図書館調査	美術・図書チーム 図書担当	図書館内利用者の 視線動向調査
2022年1月14日 11:00-11:30	公益財団法人日本生産性本部 AOM	21名	図書館見学	教学企画チーム	建物見学

資料

Data

統計

Statistical Data

● 図書館

The Library

2020年度 統計 (図書資料受入実績、所蔵総数)

※受入期間：2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)

購入資料

資料種別		購入点数
和図書	鷹の台	1,222 点
	市ヶ谷	15 点
洋図書	鷹の台	1,077 点
	市ヶ谷	0 点
和雑誌		—
洋雑誌		—
諸資料 (DVD)		2 点
計		2,316 点

2021年度 統計 (図書資料受入実績、所蔵総数)

※受入期間：2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木)

購入資料

資料種別		購入点数
和図書	鷹の台	1,350 点
	市ヶ谷	11 点
洋図書	鷹の台	1,182 点
	市ヶ谷	4 点
和雑誌		1,535 点
洋雑誌		699 点
諸資料 (DVD)		1 点
計		4,782 点

寄贈資料

資料種別	購入点数
和図書	1,241 点
洋図書	363 点
計	1,604 点

寄贈資料

資料種別	購入点数
和図書	1,287 点
洋図書	125 点
計	1,412 点

所蔵総数 ※2021年3月末現在

資料種別	所蔵総数
図 書	321,449 点
諸資料	2,522 点
雑 誌	4,626 タイトル

所蔵総数 ※2022年3月末現在

資料種別	所蔵総数
図 書	323,126 点
諸資料	2,523 点
雑 誌	4,717 タイトル

2020～2021年度 統計（開館日数、入館者数及び貸出冊数）

※集計期間：2020年4月1日(水)～2022年3月31日(木)

開館日数

(日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	—	—	26	27	25	26	27	25	23	10	12	12	213
2021年度	23	26	26	21	16	—	24	20	22	8	1	26	213

※2020年4月6日(日)～5月30日(土) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※2020年6月1日(月)～13日(土) 学部4年生および大学院生のみ入構可能

※2020年6月15日(月)～ 入構禁止解除

※2021年9月6日(月)～10月2日(土) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

入館者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	—	—	2,205	5,172	3,788	5,986	5,930	5,780	5,643	2,178	1,041	1,042	38,765
2021年度	6,839	8,373	6,920	5,565	1,675	—	5,495	5,206	6,265	1,525	96	1,761	49,720

貸出冊数

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	101	790	2,449	4,657	3,298	4,361	4,454	4,783	5,395	2,949	1,294	822	35,353
2021年度	5,011	6,716	5,773	5,882	1,098	705	4,647	4,042	4,735	1,797	358	1,518	42,282

※2020年5月12日(火)～6月11日(水) 郵送貸出(申込349件、貸出881冊)

※2021年9月6日(月)～10月2日(土) 郵送貸出(申込146件、貸出603冊)

2020～2021年度 統計 (相互協力＜TAC利用実績＞)

TAC加盟大学：国際基督教大学、国立音楽大学、東京経済大学、東京外国語大学、津田塾大学

■ 訪問利用：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、加盟館を直接訪問しての利用は中止。

■ 相互貸借 (TLLサービスによる貸出・借受)

※TLL (TAC Library Loan)：貸出希望図書取り寄せサービス。月、水、金の週3回、加盟大学間をTAC便が巡回している。

貸出 (当館より加盟館へ)

TAC加盟大学図書館への貸出冊数

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	1	6	3	14	5	5	8	14	4	4	64
2021年度	4	10	13	6	7	0	9	16	4	0	0	12	81

借受 (加盟館より当館へ)

TAC加盟大学図書館からの借受冊数

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	0	17	1	11	23	30	28	4	10	7	131
2021年度	20	25	20	25	3	0	22	17	11	4	2	0	149

●イメージライブラリー

The Image Library

2020年度 統計 (映像資料受入実績、所蔵数等)

受入資料

※2020年4月から2021年3月末までの実績

資料種別	購入点数
DVD	85 点
BD	57 点
計	142 点

所蔵総数 ※2021年3月末現在

資料種別	所蔵総数
DVD	6,583 点
BD	926 点
LD	2,053 点
VHS	2,713 点
FILM	627 点
CD	612 点
CD-ROM	3 点
合計	13,517 点

ジャンル別点数 ※2021年3月末現在

ジャンル	点数
日本映画	1,445 点
外国映画	4,824 点
アニメーション	1,749 点
ドキュメンタリー	1,924 点
ドキュメンタリー (美術・デザイン)	349 点
映像作品	588 点
テレビ放送	413 点
音楽	134 点
舞台・演劇	369 点
学生作品	235 点
美術館・図書館	197 点
学内イベント	10 点
フィルム専用ジャンル	627 点
資料映像・資料音源	259 点
中村とうよう関連 CD	394 点
合計	13,517 点

2021年度 統計 (映像資料受入実績、所蔵数等)

受入資料

※2021年4月から2022年3月末までの実績

資料種別	購入点数
DVD	189 点
BD	27 点
計	216 点

所蔵総数 ※2022年3月末現在

資料種別	所蔵総数
DVD	6,720 点
BD	946 点
LD	2,053 点
VHS	1,860 点
FILM	627 点
CD	612 点
CD-ROM	3 点
合計	12,821 点

ジャンル別点数 ※2022年3月末現在

ジャンル	点数
日本映画	1,347 点
外国映画	4,630 点
アニメーション	1,669 点
ドキュメンタリー	1,782 点
ドキュメンタリー (美術・デザイン)	348 点
映像作品	478 点
テレビ放送	388 点
音楽	133 点
舞台・演劇	326 点
学生作品	241 点
美術館・図書館	189 点
学内イベント	10 点
フィルム専用ジャンル	627 点
資料映像・資料音源	259 点
中村とうよう関連 CD	394 点
合計	12,821 点

2020～2021年度 統計（開館日数、入館者数等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均
開館日数														
2020年度	0	0	26	27	25	25	27	25	23	10	12	12	212	—
2021年度	23	26	26	21	16	0	24	20	22	8	1	26	213	—
入館者数														
2020年度	0	0	485	960	940	1,476	1,725	1,616	1,233	495	281	357	9,568	45
2021年度	1,685	1,924	1,748	1,224	474	4	1,344	1,146	1,226	392	33	693	11,893	56
視聴件数※1														
個人視聴ブース														
2020年度	0	0	32	118	129	264	335	286	200	60	64	74	1,562	7
2021年度	258	327	312	217	102	0	204	208	212	49	6	79	1,974	9
研究用映像視聴室														
2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	12	8	3	7	30	0
2021年度	36	41	42	31	6	2	27	26	27	10	0	24	272	1
視聴人数														
個人視聴ブース														
2020年度	0	0	32	118	129	264	335	286	200	60	64	74	1,562	7
2021年度	258	327	312	217	102	0	204	208	212	49	6	79	1,974	9
研究用映像視聴室														
2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	22	15	3	11	51	0
2021年度	73	76	80	57	6	2	63	64	61	24	0	34	540	3
貸出点数														
2020年度	0	571	174	291	316	521	588	613	446	128	68	80	3,796	18
2021年度	443	574	508	324	116	158	364	322	275	58	14	107	3,263	15
視聴点数※2														
2020年度	0	0	33	123	129	266	338	293	216	69	67	83	1,617	8
2021年度	296	378	356	249	109	2	235	236	253	59	6	103	2,282	11

※1 視聴件数・・・視聴の処理を行った件数

※2 視聴点数・・・視聴処理された資料の点数

※3 2020年4月～5月及び2021年9月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イメージライブラリーは臨時休館した

※4 グループ視聴室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用を中止した

1967年開館以降の全展覧会リスト

List of Exhibitions since the Museum's Opening in 1967

- ・当館主催の展覧会を一覧にした。[学外展]については、その限りではない。
- ・展覧会名については、開催当時の学部・学科構成に倣い、そのまま表記した。

年度	タイトル	会期
1967年度 (昭和42)	日本＝ドイツ＝スイス学生合同作品展	1967/04/08～1967/04/30
	昭和37-41年度 武蔵野美術大学 美術科卒業制作優秀作品展	1967/05/08～1967/07/05
	学生参考作品展	1967/07/17～1967/09/20
	昭和37-41年度 武蔵野美術大学 デザイン科卒業制作優秀作品展	1967/09/25～1967/10/25
	武蔵野美術大学 卒業生受賞(66)作品展	1967/10/31～1967/12/09
	三雲祥之助教授作品展	1968/01/10～1968/02/17
1968年度 (昭和43)	昭和42年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1968/04/22～1968/06/08
	アメリカ・アート・ポスター展	1968/06/14～1968/06/25
	壺と甕展	1968/07/01～1968/08/03
	山口長男教授作品展	1968/07/01～1968/08/03
	学生参考作品展	1968/08/08～1968/09/21
	日本・朝鮮・仏教美術拓本展	1968/09/26～1968/10/12
	武蔵野美術大学卒業生受賞作品展	1968/10/11～1968/11/22
	豊口克平・芳武茂介教授作品展	1968/10/17～1968/10/26
	法隆寺壁画複製展	1968/11/28～1968/12/14
	美術資料図書館蒐集ポスター展	1969/01/16～1969/02/05
1969年度 (昭和44)	昭和43年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1969/04/21～1969/05/02
	原弘教授作品展	1969/05/12～1969/05/31
	宮の原貝塚展	1969/06/09～1969/06/17
	宿根木調査展	1970/01/12～1970/01/24
1970年度 (昭和45)	昭和44年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1970/04/16～1970/05/04
	武蔵野美術大学 油絵・版画・彫刻教員作品展	1970/05/12～1970/05/21
	商業デザイン・芸能デザイン卒業制作優秀作品展	1970/06/11～1970/06/27
	日本の竹細工展	1970/07/02～1970/07/25
	参考作品展'70	1970/07/30～1970/08/29
	建築・工芸工業デザイン・生活デザイン卒業制作優秀作品展	1970/09/10～1970/10/12
	金原文庫・服部文庫所収作品展	1971/01/07～1971/01/30
	海外展覧会ポスター展	1971/02/04～1971/02/13
1971年度 (昭和46)	昭和45年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1971/04/20～1971/05/06
	チェコスロバキア・ポスター展	1971/05/17～1971/05/29
	日本画・油絵・彫刻卒業制作優秀作品展(昭和37-45年度)	1971/06/08～1971/06/30
	欧米の椅子—いまとむかし—展	1971/07/05～1971/07/10
	商業デザイン・芸能デザイン卒業制作優秀作品展(昭和37-45年度)	1971/07/22～1971/09/23
	琴浦部落調査—人と道具と環境—展	1971/09/27～1971/10/09
	工芸工業デザイン・建築・基礎デザイン・生活デザイン卒業制作優秀作品展	1971/10/13～1971/10/23
	日本のやきもの展	1971/10/23～1971/11/13
	遊びのかたち—組木・木のおもちゃ・風絵—展	1971/11/24～1971/12/18
	東洋美術複製展	1972/01/10～1972/02/05
1972年度 (昭和47)	昭和46年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1972/04/10～1972/05/02
	武蔵野美術展	1972/05/08～1972/05/27
	1965年のグラフィック・デザイン	1972/06/01～1972/06/30

年度	タイトル	会期
1972年度 (昭和47)	染織 鶯の装束展	1972/07/05～1972/07/26
	通信教育学習資料展	1972/07/31～1972/08/19
	浮世絵版画複製展	1972/09/11～1972/09/30
	現代ヨーロッパの椅子展	1972/09/11～1972/09/30
	近代の版画—日本と西洋—展	1972/10/03～1972/10/21
	日本の民芸品展	1972/10/24～1972/11/16
	武蔵野美術大学 工業工芸デザイン卒業生作品展	1972/11/20～1972/12/16
1973年度 (昭和48)	現代欧米の椅子展	1973/04/09～1973/04/19
	日本の展覧会ポスター展	1973/04/09～1973/04/19
	東洋のやきもの展	1973/04/09～1973/04/19
	昭和47年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1973/04/23～1973/05/17
	法隆寺金堂壁画複製展	1973/05/21～1973/06/09
	デッサン展	1973/05/21～1973/06/09
	現代日本の本の装幀展	1973/06/18～1973/07/07
	ベルソナ展の外人デザイナー作品展	1973/07/19～1973/09/22
	東洋のやきもの展	1973/07/19～1973/09/22
	デッサン展	1973/07/19～1973/09/22
	カッパドキヤの壁画模写展	1973/09/27～1973/10/11
	近代の椅子展	1973/10/17～1973/11/17
	田中忠雄教授作品展	1973/11/26～1973/12/08
	観光ポスター展	1974/04/03～1974/04/13
1974年度 (昭和49)	昭和48年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1974/04/17～1974/05/11
	タイポグラフィ展	1974/05/20～1974/06/08
	武蔵野美術大学美術科教員作品展	1974/06/12～1974/06/27
	海外のグッドデザイン展	1974/07/02～1974/07/13
	ポーランド・ポスター展	1974/07/22～1974/09/21
	近代の椅子展	1974/07/22～1974/09/21
	現代版画展	1974/07/22～1974/09/21
	インダストリアル・デザイン展	1974/09/30～1974/10/12
	外国の絵本展	1974/11/03～1974/11/16
	村井正誠教授作品展	1974/11/25～1974/12/07
	昭和49年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1975/01/27～1975/02/08
	昭和49年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1975/04/03～1975/04/26
1975年度 (昭和50)	昭和49年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作展	1975/04/03～1975/04/26
	近代の椅子展	1975/05/12～1975/06/14
	技法別版画展	1975/05/12～1975/06/14
	現代ヨーロッパのプロダクト・デザイン展	1975/05/12～1975/06/14
	昭和37-40年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1975/06/23～1975/08/29
	豊口克平教授・佐々木達三教授展	1975/09/16～1975/10/04
	ヨーロッパ・ポスター展	1975/11/02～1975/12/13
	昭和50年度 退任助手作品展	1976/01/16～1976/01/24
	昭和50年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1976/01/27～1976/02/05

年度	タイトル	会期
1976年度 (昭和51)	昭和50年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1976/04/08～1976/05/15
	昭和50年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作展	1976/04/08～1976/05/15
	ヨーロッパ・ポスター展	1976/05/24～1976/06/19
	近代の椅子展	1976/05/24～1976/06/19
	昭和41年度 昭和42年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1976/06/28～1976/08/28
	近代日本印刷資料展	1976/09/20～1976/10/16
	明朝活字—その歴史と現状—展	1976/10/31～1976/11/13
	オーストラリア・クインズランド州立美術大学生版画作品展	1976/11/24～1976/11/30
	東洋の工芸展	1976/11/24～1976/11/30
	須田寿教授作品展	1976/12/06～1976/12/18
	昭和51年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1977/01/27～1977/02/05
1977年度 (昭和52)	昭和51年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1977/04/18～1977/05/21
	昭和51年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1977/05/09～1977/05/21
	近代の版画作品展	1977/05/30～1977/06/25
	昭和43年度 昭和44年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1977/07/04～1977/08/30
	館蔵絵画作品展	1977/09/19～1977/10/15
	現代欧米の絵本展	1977/10/24～1977/11/19
	館蔵民芸品展	1977/11/28～1977/12/17
	昭和52年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1978/01/26～1978/02/08
1978年度 (昭和53)	昭和52年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1978/04/06～1978/05/20
	昭和52年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1978/04/06～1978/05/20
	館蔵版画作品展	1978/05/29～1978/06/24
	仮面と演劇展	1978/07/03～1978/07/10
	昭和45年度 昭和46年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀制作展	1978/07/20～1978/09/22
	森 芳雄教授作品展	1978/10/02～1978/10/21
	武蔵野美術大学卒業生のポスター展	1978/10/31～1978/11/18
	中国拓本展	1978/11/27～1978/12/16
	昭和53年度 助手展	1979/01/08～1979/01/20
	昭和53年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1979/01/25～1979/02/03
1979年度 (昭和54)	昭和53年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1979/04/05～1979/05/19
	昭和53年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1979/04/05～1979/05/19
	スクリーン・プロセスによる現代日本のポスター展	1979/05/28～1979/06/16
	奥村土牛素描展	1979/05/28～1979/06/16
	館蔵版画作品展	1979/06/25～1979/09/22
	日本古代の壁画展	1979/09/17～1979/09/29
	中間冊夫教授作品展	1979/10/08～1979/10/27
	武蔵野美術大学教員美術作品展	1979/11/03～1979/11/17
	三林亮太郎教授作品展	1979/11/26～1979/12/15
	昭和54年度 助手展	1980/01/07～1980/01/19
	昭和54年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1980/01/24～1980/02/02
1980年度 (昭和55)	昭和54年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1980/04/03～1980/05/10
	昭和54年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1980/04/03～1980/05/10
	所蔵武蔵野美術大学教員絵画作品展	1980/05/14～1980/05/31

年度	タイトル	会期
1980年度 (昭和55)	館蔵20世紀のポスター展	1980/05/14～1980/05/31
	所蔵やきもの展	1980/05/14～1980/05/31
	館蔵版画作品展	1980/06/09～1980/06/28
	車内ポスター展	1980/07/07～1980/08/30
	芳武茂介教授作品展	1980/09/16～1980/10/11
	生活用品のグッドデザイン展	1980/10/20～1980/11/08
	土屋幸夫教授作品展	1980/12/01～1980/12/13
	昭和55年度 助手展	1981/01/07～1981/01/20
	昭和55年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1981/01/26～1981/02/03
1981年度 (昭和56)	昭和55年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1981/04/09～1981/05/23
	昭和55年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1981/04/09～1981/05/23
	館蔵素描作品展	1981/06/01～1981/06/20
	所蔵武蔵野美術大学教員美術作品展	1981/07/01～1981/08/01
	館蔵民芸品展	1981/08/10～1981/08/29
	斎藤長三教授作品展	1981/09/21～1981/10/17
	近代ヨーロッパのポスター展	1981/10/30～1981/11/14
	横地康国教授作品展	1981/11/24～1981/12/16
	昭和56年度 助手展	1982/01/13～1982/01/23
	アメリカン・トップアーティスト23人展	1982/01/18～1982/01/30
	昭和56年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1982/01/29～1982/02/26
1982年度 (昭和57)	昭和56年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1982/04/08～1982/05/22
	昭和56年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1982/04/08～1982/05/22
	塩出英雄教授作品展	1982/05/31～1982/06/19
	館蔵版画作品展	1982/06/28～1982/08/28
	現代アメリカ展覧会ポスター展	1982/09/13～1982/10/19
	藤井令太郎教授遺作展	1982/10/27～1982/11/13
	20世紀初頭のヨーロッパ・ポスター展	1982/11/06～1982/11/11
	近代の椅子展	1982/11/06～1982/11/11
	外国の絵本展	1982/11/22～1982/12/11
	昭和57年度 助手展	1983/01/12～1983/01/22
	昭和57年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1983/01/28～1983/02/05
1983年度 (昭和58)	昭和57年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1983/04/07～1983/04/26
	昭和57年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1983/04/07～1983/04/26
	フィンランドのポスター展	1983/05/09～1983/05/28
	複製浮世絵版画展	1983/06/06～1983/06/25
	木のおもちゃ展	1983/07/11～1983/09/17
	日本のやきもの展	1983/09/26～1983/10/15
	内田武夫教授作品展	1983/10/24～1983/11/12
	峯 孝教授作品展	1983/11/21～1983/12/10
	昭和58年度 助手展	1984/01/11～1984/01/21
	昭和58年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1984/01/27～1984/02/04
1984年度 (昭和59)	昭和58年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1984/04/12～1984/04/28
	昭和58年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1984/04/12～1984/04/28

年度	タイトル	会期
1984 年度 (昭和 59)	アメリカのイラストレーション展	1984/05/10 ~ 1984/06/02
	ドイツ'20年代の傾向展	1984/06/11 ~ 1984/06/30
	朝鮮・日本仏教美術拓本展	1984/07/05 ~ 1984/08/30
	麻生三郎教授作品展	1984/09/17 ~ 1984/10/06
	建築家ブルーノ・タウトのすべて展	1984/10/15 ~ 1984/11/06
	ポスターデザインの先駆者・多田北鳥とその周辺展	1984/11/29 ~ 1984/12/15
	昭和59年度 助手展	1985/01/08 ~ 1985/01/19
	[学外展]建築家ブルーノ・タウトの全て—日本美の再発見者—	1985/01/11 ~ 1985/01/23
	昭和59年度 武蔵野美術大学大学院美術専攻修了制作作品展	1985/01/25 ~ 1985/02/03
1985年度 (昭和60)	昭和59年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1985/04/08 ~ 1985/05/11
	昭和59年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1985/04/08 ~ 1985/05/11
	アメリカのタイポグラフィ展	1985/05/20 ~ 1985/06/08
	所蔵「オリジナル版画集」展	1985/06/17 ~ 1985/07/13
	複製絵巻物展	1985/07/25 ~ 1985/09/28
	大橋正教授作品展	1985/10/14 ~ 1985/11/05
	アメリカのグラフィック・デザイン展	1985/11/18 ~ 1985/12/14
	昭和60年度 助手展	1986/01/08 ~ 1986/01/18
	昭和60年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作展	1986/01/24 ~ 1986/02/02
1986年度 (昭和61)	昭和60年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1986/04/07 ~ 1986/06/21
	昭和60年度 武蔵野美術大学修了制作優秀作品展	1986/04/07 ~ 1986/06/21
	武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品 日本画・彫刻 回顧展	1986/06/30 ~ 1986/07/19
	武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品 油絵 回顧展	1986/07/24 ~ 1986/09/22
	広田長治郎教授作品展	1986/09/29 ~ 1986/10/18
	所蔵インダストリアル・デザイン機器展	1986/09/29 ~ 1986/10/08
	アメリカのグラフィック・デザイン'86展	1986/10/30 ~ 1986/11/15
	ドレスデン造形美術大学・武蔵野美術大学版画作品交換展	1986/11/25 ~ 1986/12/13
	昭和61年度 助手展	1987/01/12 ~ 1987/01/20
1987年度 (昭和62)	昭和61年度 武蔵野美術大学・武蔵野美術短期大学卒業制作・修了制作優秀作品展	1987/04/06 ~ 1987/06/20
	昭和61年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1987/04/06 ~ 1987/06/20
	所蔵武蔵野美術大学教員日本画作品展	1987/06/29 ~ 1987/07/18
	素顔の近代ヨーロッパ建築 下村順一写真展	1987/07/27 ~ 1987/09/26
	向井良吉教授作品展	1987/10/05 ~ 1987/11/03
	ヒッピー・ポスター展	1987/11/16 ~ 1987/12/12
	昭和62年度 助手展	1988/01/11 ~ 1988/01/20
	昭和62年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1988/01/25 ~ 1988/02/01
1988年度 (昭和63)	昭和62年度 武蔵野美術大学 武蔵野美術短期大学卒業制作・修了制作優秀作品展	1988/04/11 ~ 1988/06/11
	昭和62年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1988/04/11 ~ 1988/06/11
	芦原義信教授作品展	1988/06/20 ~ 1988/07/16
	曼荼羅の世界	1988/08/01 ~ 1988/10/01
	大森朔衛教授作品展	1988/10/11 ~ 1988/11/03
	イメージの翼 細谷巖作品展	1988/11/21 ~ 1988/12/17
	昭和63年度 助手展	1989/01/09 ~ 1989/01/21
	昭和63年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1989/01/26 ~ 1989/02/05

年度	タイトル	会期
1989年度 (平成元)	昭和63年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1989/04/10～1989/07/01
	昭和63年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1989/04/10～1989/07/01
	[学外展]現代デザインの水脈—ウルム造形大学展—	1989/05/26～1989/06/05
	オトル・アイヒャー ヴィジュアルコミュニケーション展	1989/05/26～1989/06/10
	東欧の文化ポスター展	1989/07/10～1989/08/31
	毛利武彦教授作品展	1989/09/18～1989/10/07
	[学外展]特別展—武蔵野美術大学創立60周年記念— 大学院修了優秀作品集1974-1988	1989/09/29～1989/10/08
	岡井陸明教授在職40年展 岡井69	1989/10/16～1989/11/06
	あそびといのりの造形	1989/11/20～1989/12/22
	ACT1989	1990/01/08～1990/01/20
	平成1年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1990/01/29～1990/02/04
1990年度 (平成2)	平成1年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1990/04/09～1990/06/09
	平成1年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1990/04/09～1990/06/09
	新収蔵作品展	1990/06/18～1990/07/07
	くらしの造形1 やきもの	1990/07/16～1990/08/28
	木内岬教授作品展	1990/09/17～1990/10/06
	没後四十五年「ねじ釘の画家」柳瀬正夢展	1990/10/15～1990/11/05
	[学外展]フ란ツ・チゼック展—美術教育のパイオニア—	1990/11/01～1990/11/30
	宮城音蔵教授作品展	1990/11/19～1990/12/19
	ACT1990	1991/01/07～1991/01/19
	平成2年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1991/01/28～1991/02/03
	平成2年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1991/04/08～1991/05/22
1991年度 (平成3)	平成2年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1991/04/08～1991/05/22
	日本1945-1970	1991/06/10～1991/07/13
	くらしの造形2 めの	1991/08/22～1991/11/04
	新収蔵作品展	1991/10/07～1991/11/04
	赤穴宏教授作品展	1991/11/18～1991/12/04
	[特別展]結びの美—小笠原流水引の造形—	1991/12/02～1991/12/14
	ACT1991	1992/01/08～1992/01/18
	平成3年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1992/01/27～1992/02/02
1992年度 (平成4)	平成3年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1992/04/06～1992/05/20
	平成3年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1992/04/06～1992/05/20
	20世紀の造形言語—椅子とポスターの世界—	1992/05/01～1992/05/16
	館蔵武蔵野美術大学教員油彩画展 PART 1	1992/06/08～1992/06/27
	くらしの造形3 たけ	1992/07/30～1992/08/27
	館蔵スイス国鉄ポスター展	1992/09/14～1992/10/09
	訪問教授ジャン・ピゲ氏作品展	1992/09/14～1992/09/26
	館蔵武蔵野美術大学教員油彩画展 PART 2	1992/10/19～1992/11/03
	新収蔵作品展	1992/11/16～1992/12/17
	昭和前期ポスター展	1992/11/24～1992/12/22
	ACT1992	1993/01/06～1993/01/16
	平成4年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1993/01/25～1993/01/31

年度	タイトル	会期
1993年度 (平成5)	平成4年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1993/04/05～1993/05/19
	館蔵新居猛の椅子展	1993/04/19～1993/05/01
	絵本の視線と空間	1993/06/21～1993/07/22
	くらしの造形4 風	1993/08/09～1993/09/25
	根岸正教授作品展	1993/10/04～1993/11/03
	昭和のオペラ・パレエ美術の一断面	1993/11/15～1993/12/18
	Design-1992	1994/01/10～1994/01/18
	平成5年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1994/01/24～1994/01/30
	ACT1994	1994/03/07～1994/03/26
1994年度 (平成6)	神と精霊の造形	1994/05/14～1994/06/04
	川崎鈴彦客員教授作品展	1994/06/06～1994/06/25
	平成5年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1994/06/13～1994/06/25
	くらしの造形5 わら・つる・くさ	1994/07/04～1994/08/27
	中国美術学院学生優秀作品展記念 傅抱石展	1994/09/12～1994/09/24
	中国美術学院学生優秀作品展	1994/09/12～1994/09/24
	新正卓写真展 “THE CHIEF” Portraits of Native America	1994/09/29～1994/10/15
	Art Poster Today	1994/10/20～1994/11/03
	三輪正弘教授作品展	1994/11/10～1994/11/30
	新収蔵作品展	1994/12/07～1994/12/21
	平成6年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1995/01/23～1995/01/29
1995年度 (平成7)	平成6年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1995/04/10～1995/05/31
	平成6年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1995/04/10～1995/05/31
	館蔵版種別版画展	1995/06/12～1995/07/07
	アルフレッド・ハラサ ポスター展	1995/06/12～1995/07/04
	くらしの造形6 木のうつわ	1995/07/25～1995/09/19
	ロッハス・マルチネス・アンヘル展	1995/09/22～1995/09/30
	中野淳教授作品展	1995/09/28～1995/10/30
	館蔵日本画展 本画と下図	1995/11/08～1995/11/21
	柳瀬正夢 疾走するグラフィズム	1995/11/08～1995/11/25
	日本のブック・デザイン 1960-1995	1995/11/28～1995/12/06
	宮田農哉教授作品展	1995/12/04～1995/12/20
	ブルーノ・ムナリー展	1995/12/11～1995/12/22
	ACT1996	1996/01/08～1996/01/18
1996年度 (平成8)	平成7年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1996/04/08～1996/04/26
	平成7年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	1996/04/08～1996/04/26
	アフガニスタンの絨毯	1996/05/13～1996/05/31
	屋根の記憶 日本の民家 大橋富夫建築写真展	1996/07/08～1996/07/31
	くらしの造形7 かなもの	1996/07/08～1996/08/24
	前田常作教授作品展	1996/09/17～1996/10/12
	館蔵日本画展 本画と下図 II	1996/09/26～1996/10/17
	「素材再発見」展	1996/11/02～1996/11/22
	アイヌの造形 測図から学ぶ	1996/11/16～1996/11/30
	武蔵野美術大学教授退任記念展松樹路人展	1996/12/02～1996/12/21
	ACT1997	1997/01/08～1997/01/18

年度	タイトル	会期
1997年度 (平成9)	平成8年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	1997/04/07～1997/04/24
	平成8年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1997/04/07～1997/04/24
	絵本とグラフィックデザイン	1997/05/12～1997/05/24
	朝鮮の生活造形	1997/05/19～1997/06/14
	劇場空間の再発見	1997/07/03～1997/07/30
	武蔵野美術大学教授退任記念加藤昭男彫刻展	1997/09/16～1997/10/11
	館蔵日本画展 本画と下図 III	1997/09/24～1997/10/14
	藤林叡三遺作展	1997/10/20～1997/11/15
	くらしの造形8 かみ	1997/10/23～1997/11/19
	現代ドイツ家具の変遷	1997/11/27～1997/12/18
	武蔵野美術大学教授退任記念いそべたつお展	1997/11/29～1997/12/24
	ACT1998	1998/01/08～1998/01/19
1998年度 (平成10)	平成9年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業制作・修了制作優秀作品展	1998/04/06～1998/04/23
	平成9年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	1998/04/06～1998/04/23
	川崎コレクション受贈記念新収蔵絵巻物展 昔の絵師はどんな勉強をしていたか	1998/05/18～1998/06/30
	館蔵油彩画展	1998/05/25～1998/07/10
	武蔵野美術大学教授退任記念中川美智夫教授作品展	1998/07/21～1998/09/22
	武蔵野美術大学退任記念泉修二教授展	1998/09/16～1998/10/15
	くらしの造形9 ネパール	1998/10/05～1998/11/14
	名作椅子に座る	1998/11/26～1998/12/25
	武蔵野美術大学教授退任記念展加藤達美陶磁展	1998/11/30～1998/12/19
	ポーランド アート・ポスター展	1998/11/30～1998/12/19
	ACT1999	1999/01/08～1999/01/18
1999年度 (平成11)	平成10年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	1999/04/05～1999/04/21
	平成10年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1999/04/05～1999/04/21
	生の視線—触覚・軌跡・領域	1999/05/17～1999/06/21
	武蔵野美術大学教授退任記念高田一郎舞台美術	1999/07/01～1999/08/14
	戦後デザインの検証1 アングラー日本のポスターのアヴァンギャルド1960～1980—	1999/09/16～1999/10/16
	古典に学ぶ 日本画模写の研究	1999/09/20～1999/10/16
	くらしの造形10 風	1999/10/28～1999/12/11
	武蔵野美術大学教授退任記念展保田春彦展	1999/11/11～1999/12/11
	第6回大学ホログラフィー展	1999/11/15～1999/11/27
	助手展2000	2000/01/11～2000/01/20
2000年度 (平成12)	平成11年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2000/04/10～2000/04/25
	平成11年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2000/04/10～2000/04/25
	「焼物」という造形 館蔵陶磁展	2000/05/15～2000/06/15
	早川良雄展	2000/07/03～2000/08/16
	表現の磁場	2000/09/14～2000/11/12
	くらしの造形11 祈りと願いのコスモロジー	2000/11/15～2000/12/16
	武蔵野美術大学教授退任記念展大西憲展	2000/11/20～2000/12/09
	助手展2001	2001/01/09～2001/01/18
2001年度 (平成13)	平成12年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2001/04/09～2001/04/25
	平成12年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2001/04/09～2001/04/25
	現代国際ポスター展	2001/05/17～2001/06/02

年度	タイトル	会期
2001年度 (平成13)	館蔵作品展	2001/06/11～2001/07/10
	武蔵野美術大学教授退任記念桜井寛展	2001/06/11～2001/07/10
	館蔵作品展	2001/09/17～2001/10/13
	武蔵野美術大学教授退任記念川添泰宏展	2001/09/17～2001/10/13
	武蔵野美術大学教授退任記念勝井三雄展 視覚の地平線	2001/10/26～2001/12/05
	くらしの造形12 大正・昭和のくらしの博物誌	2001/11/14～2001/12/15
	絵本と印刷技術1687-1933	2001/12/10～2001/12/21
	助手展2002	2002/01/08～2002/01/18
2002年度 (平成14)	平成13年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2002/04/08～2002/04/24
	平成13年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2002/04/08～2002/04/24
	ポーランド・チェコ・スロヴァキアのポスター	2002/05/16～2002/06/16
	くらしの造形13 描かれた祈り	2002/07/07～2002/08/25
	武蔵野美術大学教授退任記念山縣壽夫展	2002/09/09～2002/10/12
	本の構成員 エル・リシツキー	2002/09/17～2002/10/19
	武蔵野美術大学教授退任記念島崎信展	2002/11/11～2002/12/05
	沼沢仁遺作展	2002/11/11～2002/12/07
	日本における絵本の成り立ち	2002/12/02～2002/12/21
	助手展2003	2003/01/06～2003/01/17
	アドルフ・ロース+F.O.シュミット展	2003/03/17～2003/04/15
2003年度 (平成15)	平成14年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2003/04/07～2003/04/23
	平成14年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2003/04/07～2003/04/23
	ヨーロッパの木製玩具 ネフ・コレクション遊びのかたち展	2003/05/12～2003/06/07
	ひろげて、すわって、おりたたむ	2003/05/22～2003/06/21
	ライカ同盟 ラ・徘徊	2003/06/26～2003/07/26
	くらしの造形14 いね こめ めし	2003/07/07～2003/08/30
	ポスターで観る日本映画200	2003/08/09～2003/09/13
	武蔵野美術大学教授退任記念田中栄作彫刻展	2003/09/25～2003/10/25
	19世紀フランス諷刺版画 オノレ・ドーミエ展	2003/09/25～2003/10/25
	武蔵野美術大学教授退任記念竹山実展	2003/11/13～2003/12/20
	RA'25	2004/01/13～2004/01/23
2004年度 (平成16)	平成15年度 武蔵野美術大学 卒業制作優秀作品・修了制作選抜作品展	2004/04/05～2004/04/21
	Les Maitre de l'Affiche	2004/05/08～2004/05/12
	現代国際ポスター展	2004/05/10～2004/06/19
	One Day Chair Show Part 1 曲線	2004/06/17～2004/06/17
	館蔵油彩画展	2004/06/28～2004/08/21
	ポスターで観る日本映画 Part 2	2004/07/01～2004/08/15
	One Day Chair Show Part 2 日本の木の椅子	2004/07/14～2004/07/14
	One Day Chair Show Part 3 建築家の椅子	2004/08/14～2004/08/14
	くらしの造形15 花祭	2004/09/13～2004/10/16
	館蔵日本画の素描	2004/09/16～2004/10/02
	衣服の領域	2004/11/08～2004/12/13
	崇高なる現在	2004/12/03～2004/12/18
	RA'05	2005/01/11～2005/01/21

年度	タイトル	会期
2005年度 (平成17)	平成16年度 武蔵野美術大学 卒業制作優秀作品・修了制作 選抜展	2005/04/04～2005/04/20
	舞台美術家伊藤熹朔の舞台美術装置原画展	2005/05/06～2005/05/28
	デザイン国際化時代のバイオニア	2005/06/09～2005/07/16
	学生による布の邂逅2004 巡回展	2005/07/25～2005/08/14
	ポスターで観る日本映画 Part 3	2005/07/28～2005/08/24
	那須勝哉日本画展	2005/09/12～2005/10/08
	くらしの造形16 回れ・まわれ・水車	2005/10/17～2005/11/03
	コドモ ドコマデモ コドモ 最上壽之展	2005/11/08～2005/12/14
	One Day Chair Show Part 4 小椅子	2005/11/14～2005/11/14
	絵本におけることばとイメージ	2005/11/14～2005/12/17
	齋藤素蔵の仕事展	2005/11/15～2005/12/10
	One Day Chair Show Part 5 安楽椅子	2005/12/14～2005/12/14
	武蔵野美術大学助手研究発表展RA'06	2006/01/10～2006/01/20
2006年度 (平成18)	平成17年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作 優秀作品展	2006/04/07～2006/04/26
	竹で捕る	2006/04/10～2006/04/27
	One Day Chair Show Part 6 肘付椅子	2006/05/15～2006/05/15
	LES MAITRES DE L'AFFICHE ポスター芸術の巨匠たち	2006/05/29～2006/06/18
	韓国・ドイツ・日本学生絵本展	2006/06/17～2006/07/08
	高柳恵里展「展示」	2006/06/22～2006/07/22
	見ること／作ることの持続	2006/06/29～2006/07/29
	教務補助作品展 part-1 SAA –the works of School Affairs Assistants–	2006/07/20～2006/07/23
	身体尺とモノ	2006/07/31～2006/08/11
	絵馬の図像学	2006/09/04～2006/09/14
	スペースピクトグラムの試論—劇場空間の基点を探る—	2006/09/11～2006/10/07
	有坂ゆかり「paradise Lost」	2006/09/20～2006/10/06
	御用絵師の仕事と紀伊狩野家	2006/10/16～2006/11/11
	くらしの造形17 ばいぬかじ（南の風）	2006/10/28～2006/12/06
	黙示 新正卓展	2006/11/16～2006/12/16
	Holger Matthies	2006/11/20～2006/12/15
	教務補助作品展 part-2 SAA –the works of School Affairs Assistants–	2006/11/30～2006/12/03
	武蔵野美術大学助手研究発表RA'07	2007/01/09～2007/01/20
2007年度 (平成19)	平成18年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作 優秀作品展	2007/04/09～2007/04/25
	日本の笠・アジアの笠	2007/04/09～2007/04/27
	平成18年度 武蔵野美術大学博士後期課程 研究発表展	2007/05/10～2007/05/24
	水野亮展「物置」	2007/05/22～2007/06/08
	ムサビと絵本—絵本の表現—	2007/06/04～2007/07/01
	現代のしかけ絵本	2007/06/04～2007/07/01
	篝ノ世界	2007/06/15～2007/06/28
	One Day Chair Show Part 7 ミッドセンチュリー・北欧の椅子	2007/06/16～2007/06/16
	One Day Chair Show Part 7—American modern chair 1940-1970—	2007/06/17～2007/06/17
	射影のクオリア 行為-記録-素描-転写/版	2007/07/09～2007/08/12
	くらしの造形18 笑うエビス	2007/08/04～2007/09/22
	世界の表象：オットー・ノイラートとその時代	2007/09/25～2007/10/21
	富井大裕展「みるための時間」	2007/10/05～2007/10/20

年度	タイトル	会期
2007年度 (平成19)	第2寮へと続く廊下	2007/10/26～2007/10/28
	Danese：プロダクトの編集者	2007/11/12～2007/12/15
	自然と必然の住まい	2007/11/26～2007/12/15
	武蔵野美術大学助手研究発表RA'08	2008/01/07～2008/01/19
2008年度 (平成20)	平成19年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2008/04/07～2008/04/23
	“AREWA”（幸せ）のかたち	2008/04/14～2008/05/10
	ヤング、アグレッシヴ	2008/05/08～2008/05/24
	魔女たちの九九	2008/06/02～2008/07/12
	背文字が呼んでいる	2008/08/04～2008/09/20
	Naefのおもちゃ	2008/08/04～2008/10/22
	槿（むくげ）の画家 柳瀬正夢展	2008/10/06～2008/10/25
	Visual Devices 視覚装置：見ることを見る	2008/10/06～2008/10/25
	武蔵野美術大学教授退任記念小泉力雄 金属の仕事	2008/11/10～2008/12/13
	武蔵野美術大学教授退任記念地からのメッセージ・静なる世界	2008/11/10～2008/12/13
	リニューアル展	2009/01/07～2009/01/17
2009年度 (平成21)	平成20年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2009/04/06～2009/04/22
	武蔵野美術大学教授退任記念森豪男Hideo Mori	2009/05/11～2009/05/30
	石元泰博【多重露光】	2009/05/11～2009/06/14
	新国誠一の《具体詩》	2009/06/08～2009/06/29
	One Day Chair Show Part 9 編む	2009/06/13～2009/06/14
	武蔵野美術大学80周年記念展絵の力—絵具の魔術—	2009/07/08～2009/08/15
	川口直次舞台美術	2009/09/07～2009/10/03
	武蔵野美術大学80周年記念権鎮圭	2009/10/19～2009/12/05
	武蔵野美術大学80周年記念展 ドローイング—思考する手の力—	2009/10/31～2009/12/12
	HUMOR	2009/11/24～2009/11/28
	縄文の美術	2009/12/04～2009/12/19
	武蔵野美術大学助手研究発表RA'10	2010/01/12～2010/01/21
	強靱な素材、柔軟な思考	2010/01/12～2010/02/01
2010年度 (平成22)	平成21年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2010/04/05～2010/04/21
	武蔵野美術大学教授退任記念展堀内貞明	2010/05/10～2010/05/30
	博物図譜とデジタルアーカイブⅠ	2010/06/21～2010/08/07
	武蔵野美術大学 美術館・図書館新棟落成記念博物図譜とデジタルアーカイブⅡ	2010/08/23～2010/10/25
	2-305!! ムサビ助手展	2010/09/06～2010/12/18
	強靱な素材、柔軟な思考	2010/10/12～2010/11/01
	コドモアサヒの時代	2010/11/08～2010/12/18
	武蔵野美術大学教授退任記念甲田洋二展	2010/11/11～2010/12/09
	武蔵野美術大学教授退任記念柳澤紀子	2010/11/18～2010/12/18
2011年度 (平成23)	平成22年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2011/04/11～2011/04/27
	博物図譜とデジタルアーカイブⅢ	2011/04/11～2011/06/19
	土のうつわ	2011/04/11～2011/08/10
	ムサビのデザイン	2011/06/24～2011/07/30
	WA：現代日本のデザインと調和の精神	2011/06/24～2011/07/30
	中村とうようコレクション展	2011/07/04～2011/09/24
	清水多嘉示資料展 第I期	2011/07/04～2011/08/06

年度	タイトル	会期
2011年度 (平成23)	博物図譜とデジタルアーカイブⅣ	2011/10/17～2011/12/24
	強靱な素材、柔軟な思考	2011/10/17～2011/11/10
	20世紀から21世紀へ 転換期のポーランド・ブックアート	2011/10/21～2011/11/19
	杉浦康平・脈動する本	2011/10/20～2011/12/17
	energy ムサビ助手展	2011/11/28～2011/12/24
2012年度 (平成24)	平成23年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作 大学院修了制作優秀作品展	2012/04/04～2012/04/26
	ムサビのデザインⅡ	2012/05/14～2012/08/18
	Relation：継がれるもの 語りえぬもの	2012/05/14～2012/06/23
	武蔵野美術大学のデザイン教育アーカイブダイアグラム教育	2012/05/14～2012/06/23
	大辻清司フォトアーカイブ	2012/05/14～2012/06/23
	強靱な素材、柔軟な思考	2012/05/28～2012/06/22
	世界の学生の環境ポスタープロジェクト	2012/07/09～2012/08/18
	回顧展 夢みる人 今 敏	2012/07/16～2012/08/25
	蓋と身の深い関係	2012/07/16～2012/08/10
	博物図譜とデジタルアーカイブⅤ	2012/09/03～2012/10/06
	Print Resonance—世界の美術学校の版画集展	2012/09/03～2012/10/06
	武蔵野美術大学教授退任記念田中秀穂展 VANISHING & EMERGING	2012/09/03～2012/10/06
	武蔵野美術大学のデザイン教育アーカイブタイプグラフィ教育Ⅰ	2012/09/10～2012/10/20
	アートとファッション、雑誌「ヴィジョネア」の挑戦	2012/09/18～2012/12/01
	口と穴を考える	2012/10/01～2012/10/29
	武蔵野美術大学教授退任記念斎藤國靖 <仮説>としての絵画	2012/10/22～2012/11/17
	近現代のブックデザイン考Ⅰ	2012/10/22～2012/11/17
	マルセル・ジモン彫刻展	2012/11/05～2012/12/07
	助手展 2012 武蔵野美術大学助手研究発表	2012/11/26～2012/12/22
	武蔵野美術大学教授退任記念椎名純子 大地の棲家	2012/11/26～2012/12/22
2013年度 (平成25)	平成24年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2013/04/03～2013/04/25
	タイポグラフィ 2つの潮流	2013/05/20～2013/08/18
	ET IN ARCADIA EGO 墓は語るか	2013/05/20～2013/08/10
	書とデザイン	2013/06/03～2013/07/27
	ムサビのデザインⅢ	2013/06/03～2013/08/18
	わくわく!?	2013/06/03～2013/07/27
	武蔵野美術大学教授退任記念寺原芳彦 二軸の想 (sou)	2013/09/02～2013/10/05
	13人のドイツ・コミック作家展	2013/09/02～2013/11/16
	版画・陶磁コレクションハイライト展	2013/09/17～2013/11/16
	向井周太郎 世界プロセスとしての身振り	2013/09/17～2013/11/16
	竹を編んだかたち	2013/09/17～2013/11/16
	平野甲賀の仕事 1964-2013 展	2013/10/21～2013/12/21
	武蔵野美術大学教授退任記念 宮下勇 ムサビキャンパスの建築	2013/11/25～2013/12/21
	助手展2013 武蔵野美術大学助手研究発表	2013/11/25～2013/12/21
	しかけ絵本Ⅰ 技法の歴史	2013/09/17～2013/12/07
2014年度 (平成26)	平成25年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2014/04/07～2014/04/30
	オオハラ・コンテンポラリー・アット・ムサビ	2014/05/26～2014/08/17
	竹が生み出すかたち	2014/06/02～2014/07/26
	コレクションハイライト：館蔵スウェーデンポスター	2014/09/08～2014/10/27

年度	タイトル	会期
2014年度 (平成26)	ポーランドのポスター フェイスあるいはマスク	2014/09/08～2014/10/27
	しかけ絵本Ⅱ江戸から明治に見るあそびのしかけ	2014/09/16～2014/11/29
	ムサビのデザインⅣ	2014/09/08～2014/10/27
	承徳の民藝品	2014/10/06～2014/11/29
	井上耐子 時空を越えて	2014/11/17～2014/12/13
	助手展2014 武蔵野美術大学助手研究発表	2014/11/17～2014/12/13
2015年度 (平成27)	平成26年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2015/04/06～2015/04/30
	近代日本彫刻展 -A Study of Modern Japanese Sculpture-	2015/05/25～2015/08/16
	絵の始まり 絵の終わり ー下絵と本画の物語ー	2015/05/25～2015/08/16
	ポピュラー音楽の世紀	2015/05/25～2015/08/16
	中華世界の願いの形ー河北省承徳の民間版画と剪纸ー	2015/06/01～2015/06/27
	小野皓一展 武蔵野美術大学教授退任記念	2015/09/01～2015/09/26
	ムサビのデザインⅤ：1960-80年代、日本のグラフィックデザイン	2015/09/01～2015/11/07
	マリク書店の光芒	2015/10/01～2015/11/30
	菓子木型の造形	2015/10/05～2015/11/28
	堀尾幸男「対(ツイ)」	2015/10/13～2015/11/07
	助手展2015 武蔵野美術大学助手研究発表	2015/11/24～2015/12/19
	池田良二ー静慮と精神の息吹	2015/11/24～2015/12/19
2016年度 (平成28)	平成27年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2016/04/04～2016/04/29
	所蔵品展ー絵画と彫刻をめぐる抽象表現	2016/05/23～2016/08/20
	平面を超える絵画：インスタレーションと日本画的感性	2016/05/23～2016/08/20
	絵馬	2016/05/23～2016/07/09
	GROUND 2 絵画を語る一見方を語る	2016/05/23～2016/08/20
	小井土満展 鉄水墨	2016/09/05～2016/10/02
	あかり / AKALI	2016/09/05～2016/11/12
	ムサビのデザインⅥ：みんなのへや	2016/09/05～2016/11/12
	鈴木久雄ー彫刻の速度	2016/10/17～2016/11/12
	面（めん/つら）ー民俗資料にみる顔の表現ー	2016/10/17～2016/11/12
	はじまりは石ー永井研治	2016/11/25～2016/12/22
	JOSHUTEN 武蔵野美術大学助手研究発表2016	2016/11/25～2016/12/22
2017年度 (平成29)	平成28年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2017/04/04～2017/04/29
	芦原義信建築アーカイブ展 モダニズムにかけた夢	2017/05/22～2017/08/13
	モダンリビングへの夢 産業工芸試験所の活動から	2017/05/22～2017/08/13
	だるまで巡るニッポン	2017/05/22～2017/07/01
	未来の幽霊 長沢秀之展	2017/09/04～2017/10/01
	やきものの在処（ありか）	2017/09/04～2017/11/11
	戸谷成雄ー現れる彫刻	2017/10/16～2017/11/11
	タイポグラフィ教育2 タイポグラフィデザインの楽しさを探る／田中晋の教育の軌跡	2017/10/16～2017/11/11
	しめかざり	2017/10/16～2017/11/18
	吉田直哉 映像とは何だろうか	2017/11/27～2017/12/22
	遠藤彰子展“Cosmic Soul”	2017/11/27～2017/12/22
	ムサビ助手展2017 ー武蔵野美術大学助手研究発表ー	2017/11/27～2017/12/22
2018年度 (平成30)	平成29年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2018/04/04～2018/04/28
	ドローイング 内なる水脈の解放	2018/05/21～2018/08/19

年度	タイトル	会期
2018年度 (平成30)	リトグラフ 石のまわりで	2018/05/21～2018/08/19
	新島実と卒業生たち そのデザイン思考と実践 1981-2018	2018/09/03～2018/09/29
	ポートフォリオ・プロジェクト展	2018/09/03～2018/09/28
	田中克明 プロジェクト型デザイン活動の軌跡	2018/10/15～2018/11/10
	関野吉晴ワンダースペース	2018/10/15～2018/11/10
	東北の木地玩具—遊びと祈りの造形—	2018/10/15～2018/11/30
	和語表記による和様刊本の源流	2018/11/01～2018/12/18
	助手展2018 武蔵野美術大学助手研究発表	2018/11/26～2018/12/18
2019年度 (令和元)	平成30年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2019/04/03～2019/04/27
	清水多嘉示資料展—石膏原型の全てと戦後資料（第Ⅲ期）	2019/05/20～2019/06/16
	内田あぐり—化身、あるいは残丘	2019/05/20～2019/06/16
	小竹信節 退任記念公演『奴婢訓』	2019/07/02～2019/07/07
	くらしの造形20「手のかたち・手のちから」	2019/08/09～2019/09/21
	スタシス・エイドリゲヴィチウス：イメージ——記憶の表象	2019/09/02～2019/11/09
	島本脩二「本を作る」展 デザイナーと編集者の役割	2019/10/14～2019/11/09
	帝国美術学校の誕生—金原省吾とその同志たち	2019/10/14～2019/11/09
	助手展2019 武蔵野美術大学助手研究発表	2019/11/25～2019/12/21
	くらしの中の布 —まとう・つつむ・たたむ—	2019/11/25～2019/12/21
2020年度 (令和2)	令和元年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作優秀作品展	2020/06/15～2020/08/13
	脇谷徹 素描ということ	2020/09/21～2020/10/24
	イラストレーションがあれば、	2020/09/21～2020/10/24
	紙・木・藁にみる祈りの造形	2020/10/26～2020/12/19
	Door is Ajar ドアは開いているか 山本直彰展	2020/11/16～2020/12/19
	十時啓悦 樹木と漆と暮らし	2020/11/16～2020/12/19
	所蔵品展 ふたしかなデザイン	2020/11/16～2020/12/19
	部屋と庭 隔たりの形式	2020/11/30～2020/12/19
2021年度 (令和3)	オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所	2021/04/05～2021/06/20
	片山利弘—領域を越える造形の世界	2021/04/05～2021/06/20
	膠を旅する—表現をつなぐ文化の源流	2021/05/12～2021/06/20
	令和2年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作優秀作品展	2021/07/12～2021/08/08
	川口起美—I'll be your mirror	2021/09/06～2021/10/02
	ART-BOOK: 絵画性と複製性—MAU M&L貴重書コレクション × Lubokの試み	2021/09/06～2021/11/10
	牧野良三—舞台美術における伝達と表現	2021/10/18～2021/11/13
	運ぶ—文化とかたち	2021/10/25～2021/12/18
	助教・助手展2021 武蔵野美術大学助教・助手研究発表	2021/11/29～2021/12/18

武蔵野美術大学 美術館・図書館
館報 no.31 2020-2021

公開日 2022年 9月 20日
編集・発行 武蔵野美術大学 美術館・図書館
東京都小平市小川町 1-736
<https://mauml.musabi.ac.jp/> 
デザイン 江南仁美

©Musashino Art University Museum & Library, 2022

MUSEUM

MUSEUM

MUSEUM

LIBRARY

LIBRARY

LIBRARY